

関西医科大学 広報



花束贈呈を受ける友田前学長(左) 木梨新学長(右)

学長就退任記念会開催

Vol.62

CONTENTS

トピックス：学長就退任記念会

P.1

大学：令和5年度科学研究費助成事業交付内定者一覧他

P.8

大学：トリノ工科大学との学术交流協定締結

P.4

大学：若手研究者特集

P.21

大学：3学部合同授業実施

P.7

病院：総合医療センターにドクターカー導入

P.24

学長就退任記念会

5月8日(月)18時から、リーガロイヤルホテル大阪タワーウィング「ロイヤルホール」(大阪市北区)において、本学評議員、法人役員、副学長、学部長、同窓会役員、教職員など146名が参加し、学長就退任記念会が開催されました。

冒頭の山下敏夫理事長のあいさつでは、友田幸一前学長のこれまでの実績をたたえ、木梨達雄新学長には今後への期待が述べられました。続く友田前学長による退任あいさつでは、学長として本学の国際化を推進してきたことや、教育力や研究力の向上に力を尽くし、THE世界大学ランキングで大きな躍進を遂げ日本国内の私立大学で1位にランクインする実績を残せたことなどに触れながら、これまでの教職員からの協力に対して感謝の念

が述べられました。

木梨新学長による就任あいさつでは、副学長、3学部長と力をあわせ総力を結集し、本学の教育力、研究力を向上していきたいと今後の抱負や未来像を語りました。

澤田敏副理事長の音頭による乾杯の後は、祝宴が催され、会場内は歓談でにぎわいました。

その後は、看護学部加藤令子学部長から友田前学長および木梨新学長に記念品が贈呈され、また生理学講座中村加枝教授から友田前学長へ、形成外科学講座覚道奈津子教授から木梨新学長へ、感謝の念を込め花束が贈呈されました。

最後はリハビリテーション学部飯田寛和学部長の閉会の辞により、記念会は盛会裡に閉幕しました。



退任あいさつをする友田前学長



就任あいさつをする木梨新学長

附属生命医学研究所分子遺伝学部門・学長特命教授に就任して

附属生命医学研究所分子遺伝学部門・学長特命教授 清末 優子

令和5年6月1日付けで関西医科大学附属生命医学研究所分子遺伝学部門・学長特命教授を拝命いたしました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。本学においては、先進光学顕微鏡技術と基礎生物学の側面から、皆様とも密に連携しつつ、研究や医療の発展に貢献できるよう精一杯努力する所存です。

私は、クライオ電子顕微鏡を用いた構造解析で学位を取得後、ERATOプロジェクト～株式会社カン研究所において、京都大学の故・月田教授の元で細胞生物学研究に取り組み、以降、ライブセルイメージング技術の高度化を進めながら、発生や疾患の背景にある細胞の機能や制御の本質を明らかにすることを追求してきました。技術開発では、未踏のイメージングを実現するために、高速2光子顕微鏡の開発や、超解像技術の第一人者であるハワード・ヒューズ医学研究所のBetzig博士による開発研究に参画して最新鋭の高解像型ライトシート顕微鏡の国内初導入を果たし、また、多次元画像解析技術の開発も進めております。これらを用いて特に、細胞の形態形成、分裂、物質輸送、分化といった基本的なプロセスやそれらに関連する細胞がん化などにおける、治療法の

開発にもつながる最も根源的なメカニズムを解明することを目指しております。皆様にはご指導ご鞭撻を賜ることができますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



略歴

平成 2年	お茶の水女子大学生物学科 卒業
平成 4年	お茶の水女子大学生物学科修士課程 修了
平成 4年	大阪大学基礎工学部博士後期課程、松下電器産業国際研究所 スチューデント
平成 7年	大阪大学基礎工学部博士後期課程 修了
平成 7年	松下電器産業国際研究所 研究員
平成 9年	ERATO月田細胞軸プロジェクト 研究員
平成12年	株式会社カン研究所細胞骨格・細胞運動研究グループ グループリーダー
平成21年	理化学研究所発生・再生科学総合研究センター(CDB) ユニットリーダー
平成26年	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター(CLST) ユニットリーダー
平成31年	理化学研究所生命機能科学研究センター(BDR) チームリーダー
令和 5年	関西医科大学附属生命医学研究所分子遺伝学部門 学長特命教授

令和4年度事業報告

本学の令和4年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。今後は、附属病院別館

建設、総合医療センター西館建設などを踏まえ、さらなる教育・研究・診療の充実をめざします。

法人

● 関医タワー

4月に国際化推進センター設置及び留学生宿舎の利用開始、6月に関医タワーホテルが開業しました。

● 附属病院別館建設計画

基本計画及び基本設計に基づき、別館建設用地の既存建物を解体しました。

● スマート病院構想

各附属病院における新しいIT技術やAIの導入による抜本的な病院機能改革について検討を行いました。

● くずは駅中健康・健診センター

11月にくずは駅中健康・健診センターが開業しました。

● 交流センターラウンジ

令和5年3月に交流センターに「ラウンジ」が完成しました。

教育

■ 医学部・医学研究科

● 学費減額

学費6年間総額を2,770万円から2,100万円に大幅減額した結果、志願者数が過去最多の5,437名となりました。

● 国際大学院開設

国際大学院を開設し、9月に第1期生7名が入学しました。

■ 看護学部・看護学研究科

● 学費減額

学費の減額と特待生制度の充実により、志願者数が過去最多の1,539名となりました。

● 国家試験合格率

国家試験においては「看護師」、「助産師」は100%の合格率となり、本学関連病院には79名が就職しました。

■ リハビリテーション学部

● リハビリテーション学部は、開設2年目を迎え、基礎教養科目、専門基礎科目の履修に加えて専門科目の開講準備を行いました。

研究

● 附属光免疫医学研究所

4月に「附属光免疫医学研究所」が開所し、研究所の設備及び機器の更なる拡充を行い、研究基盤の充実を図りました。

● 科研費獲得額

科研費の採択件数は217件でしたが、採択額ははじめて4億円に達しました。

診療

■ 附属病院

● 医療機器の更新

IVR-CTシステム、血管造影装置、セントラルモニタシステムの更新などを行い、大学病院としての機能の維持向上に努めました。

● 救急医療の充実

COVID-19においても「断らない病院」の実現を掲げ、救急患者の受入に努め、救急搬送年間約4千件を超え、前年度を上回る水準を達成しました。

■ 総合医療センター

● COVID-19患者の診療

大阪コロナ重症センターとして、COVID-19患者対応に注力しました。

■ 香里病院

● 診療単価の向上

「重症度、医療・看護必要度」の向上対策を行い、「入院基本料7対1」を堅持しました。

■ くずは病院

● 収支の黒字化

12月の土地、建物の取得による賃借料の負担軽減も加わり収支の黒字化を達成しました。

■ 天満橋総合クリニック

● 優良総合健診施設の認定更新

10月に日本総合健診医学会による実地調査を受け、更新しました。

以上

令和4年度・令和5年度の内部監査

内部監査室長 稲垣千代子

令和4年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告及び令和5年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

1、令和4年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

年次監査

- 1)「公的研究費の管理状況(令和3年度対象)」
- 2)「医療安全活動」
- 3)「メンタルヘルスマネジメント状況」

2、令和5年度内部監査計画(年次監査)

- 1) 監査項目：「公的研究費の管理状況(令和4年度対象)」
監査対象部門：研究部研究課及び関連部門
監査日程：令和5年6月～7月
選定理由：「公的研究費の管理・監査体制に関する規程」第36条に定める内部監査

2) 監査項目：「学術研究活動」

監査対象部門：医学部、看護学部、リハビリテーション学部
監査日程：令和5年9月～12月
選定理由：本学学術研究活動の更なる活性化及び研究不正予防の仕組みの点検

3、本学内部監査規程第8条(品質管理)による内部監査業務の内部評価

担当：総務部

以上

「施設設備整備拡充事業資金」の募集のご案内

令和4年度募金実績報告

コロナ禍にもかかわらず、皆様より温かいご支援を賜りました。くずは駅中健康・健診センター等の施設設備整備拡充事業に充当させていただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

	件数	金額(円)
同窓生	1	10,199,999
保護者	31	40,200,000
関連業者	1	500,000
教職員	2	300,000
その他	1	1,000,000
相続・遺贈	1	5,000,000
	37	57,199,999

令和5年度募集要項

募金の目的：関西医科大学施設設備整備拡充事業資金
募集主体：学校法人関西医科大学
募集対象：保護者、同窓会員、本学関連の個人及び法人、その他

所得税が最大40%減額されます

詳細は募金室ホームページをご覧ください。募金室までお問い合わせください。

なお、この募金の応募は任意です。

関西医科大学法人事務局募金室
〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号
TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344
メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp
HP：https://www.kmu.ac.jp/donation/index.html

令和5年4月から令和5年6月までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。

本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

トリノ工科大学（イタリア）と学術交流協定締結

学校法人関西医科大学は、4月1日(土)、トリノ工科大学(イタリア)との間で学術交流協定を締結しました。

トリノ工科大学はイタリア初の歴史ある工科大学で、イタリアのみならず世界でトップレベルの大学の一つです。トリノ工科大学客員教授のGiuseppe Pezzotti先生と本学の微生物学講座大隈和教授との研究活動がきっかけで、国際的な立場で本学と共同研究を開始することになりました。

また、トリノ工科大学は日本国内の大学との研究や企業との交流などに活用する拠点「トリノ工科大学ジャパン ハブ京都」を開設。7月11日(火)には、同拠点(京都市左京区)およびクエスチョンビルディング(京都市中京区)でオープニングセレモニーが行われ、クエスチョンビルディングでのセレモニー中に木梨達雄学長、友田幸一国際化推進センター長、トリノ工科大学Guido Saracco学長、David Chiaramonti副学長らによる本学とトリノ工科大学との協定調印式が実施されました。

将来、バイオメカニクスだけでなく医療に関係するバイオサイエンス分野での医工連携が注目されます。国内でも類を見ない新しいプロジェクトで、双方の大学が有

機的な関係を築き、新しい科学技術の発展に貢献できることが期待されます。

今後は本協定に基づき、両校でグローバルな領域での医工連携により研究シーズの育成・推進を行い、またユニークな研究プログラムの構築、大学院博士課程での医学分野と工学分野の博士号を同時に取得できるダブルディグリープログラム設立に向けた協議を進めます。



木梨学長(中央左)、友田国際化推進センター長(左)

今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	5月8日	学長就任記念会
	6月7日	ゴルギ・ス駐日セネガル共和国大使来訪
	7月7日	枚方市との健康医療福祉に関する事業連携協定締結
	4月1日	トリノ工科大学との学術交流協定締結
	4月20日	3学部合同授業実施
	4月21日	看護学部1年次合宿研修(神戸舞子ヴィラ)
	4月23日	看護学部オープンキャンパス
大学	4月28日	2学部合同授業実施
	5月13・14日	高齢者こころとからだの健康チェック2023
	5月15日	第93回解剖体追悼法要、遺骨返還式
	5月26日	3学部合同授業実施
	6月3・4日	第1回新医学教育改革2023WS
	6月3日	ポストポリオ検診会
	6月15日	令和5年度新任教員教育FD
	6月18日	リハビリテーション学部オープンキャンパス
	6月21日	第2回新医学教育改革2023WS
	7月9日	看護学部オープンキャンパス
	7月23日	医学部オープンキャンパス
附属病院	7月23日	リハビリテーション学部オープンキャンパス
	4月25日	診療材料費抑制の取り組み顕彰
	5月19日	食道がん患者会「藤見の会」
	6月3日	地域で考える骨粗鬆症連携セミナー
	6月13日	消防訓練
総合医療センター	5月12日	第22回地域連携研修会
	5月26日	第23回地域連携研修会
卒後臨床研修センター	6月27日	ドクターカー(ラビッドレスポンスタイプ)導入
	5月20日	令和6年度採用専門研修プログラム説明会開催
看護キャリア開発センター	5月20日	卒後臨床研修合同説明会「研修医と語る会」開催
	5月24日	臨地実習指導者研修会
	6月14日	看護管理者研修
	6月29日	看護副師長研修
	7月19日	実地指導者研修(教育・研修・看護実践支援部門)



看護学部1年次合宿研修



診療材料費抑制の取り組み顕彰



附属病院消防訓練

枚方市との連携協定締結について

関西医科大学は枚方市とこれまでの包括協定に加え、健康、医療、福祉分野への連携協力に関する協定を締結しました。7月7日(金)、枚方市役所市長室において枚方市伏見隆市長と木梨達雄学長が出席し、締結式が行われました。この協定に基づき、今後、健康医療福祉に関する事業の連携、共同プロジェクトの実施や教職員の交流、健康医療福祉に対する啓発活動・情報発信の促進等に協力して取り組み、枚方市民の健康増進や地域の産業振興を図るとともに、地域の活性化に貢献します。



木梨学長(右)と枚方市伏見市長

令和6年度医学部入学試験概要

医

試験実施日程

	特別枠 学校推薦型 選抜試験	一般枠 学校推薦型 選抜試験	特色 選抜試験	一般選抜試験 (前期)	大学入学 共通テスト ・ 一般選抜試験 併用試験	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (前期)	一般選抜試験 (後期)	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (後期)
募集人員	10名	10名	7名	53名	13名	12名	5名	
募集区分	専願制	併願制	併願制	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠	一般枠
出願期間 (当日消印有効)	令和5年11月1日(水) } 令和5年11月27日(月)			令和5年12月23日(土) } 令和6年1月11日(木)			令和6年2月1日(木) } 令和6年2月16日(金)	
第1次 試験日	令和5年 12月10日(日)			令和6年 1月27日(土)	令和6年 1月13日(土) ・14日(日) ・27日(土)	令和6年 1月13日(土) ・14日(日)	令和6年 3月2日(土)	令和6年 1月13日(土) ・14日(日)
第1次 合格者発表	令和5年 12月13日(水)			令和6年 2月6日(火)	令和6年 2月9日(金)		令和6年 3月8日(金)	
第2次 試験日	令和5年 12月16日(土)			令和6年 2月10日(土)	令和6年 2月17日(土)		令和6年 3月12日(火)	
第2次 合格者発表	令和5年 12月22日(金)			令和6年 2月15日(木)	令和6年 2月22日(木)		令和6年 3月15日(金)	
手続完了 期限	令和6年 1月5日(金)			令和6年 2月26日(月)	令和6年 3月1日(金)		令和6年 3月22日(金)	

別途、地域枠 15 名 (大阪府 5 名、静岡県 8 名、新潟県 2 名)・研究医枠 2 名を臨時定員増設置構想中

令和6年度看護学部入学試験概要

看

試験実施日程

	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験		
	専願制	併願制	2教科型	3教科型	2教科型	3教科型	5教科型
募集人員	42名		50名		8名		
	36名 指定校制含む	6名	15名	35名	3名	3名	2名
出願期間 (当日消印有効)	令和5年11月1日(水) } 令和5年11月10日(金)		令和5年12月11日(月) } 令和6年1月17日(水)		令和5年12月11日(月) } 令和6年1月11日(木)		令和5年12月11日(月) } 令和6年1月24日(水)
試験日	令和5年11月26日(日)		令和6年2月2日(金)		令和6年1月13日(土)・14日(日)		
合格者発表	令和5年12月2日(土)		令和6年2月15日(木)		令和6年2月15日(木)		
手続完了 期限	令和5年12月13日(水)		令和6年2月26日(月)		令和6年2月26日(月)		

令和6年度リハビリテーション学部入学試験概要 リ

試験実施日程									
		総合型選抜試験		学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験	
		専願制		専願制	併願制	2教科型	3教科型	2教科型	4教科型
募集人員	理学療法学科	10名		20名	8名	4名	14名	2名	2名
	作業療法学科	8名		12名	6名	2名	10名	2名	—
出願期間 <small>(当日消印有効)</small>		令和5年9月19日(火) } 令和5年9月29日(金)		令和5年11月1日(水) } 令和5年11月10日(金)		令和5年12月11日(月) } 令和6年1月17日(水)		令和5年12月11日(月) } 令和6年1月26日(金)	
試験日		A日程 令和5年10月14日(土) B日程 令和5年10月21日(土)		令和5年11月26日(日)		令和6年2月2日(金)		令和6年 1月13日(土)・14日(日)	
合格発表日		令和5年11月1日(水)		令和5年12月2日(土)		令和6年2月15日(木)		令和6年2月15日(木)	
手続完了期限		令和5年11月10日(金)		令和5年12月13日(水)		令和6年2月26日(月)		令和6年2月26日(月)	

令和6年度大学院医学研究科学生募集要項（修士・博士課程） 医

- 募集人員 医科学専攻修士課程計8名・医学専攻博士課程計50名
※第一次募集で定員に達した場合は、追加募集は実施いたしません。

■試験概要

	医科学専攻修士課程		医学専攻博士課程	
	第一次募集	追加募集	第一次募集	追加募集
入学願書受付期間	令和5年7月10日(月)～ 令和5年8月4日(金) 【当日消印有効】	令和5年10月10日(火)～ 令和5年11月17日(金) 【当日消印有効】	令和5年10月10日(火)～ 令和5年11月17日(金) 【当日消印有効】	令和5年12月18日(月)～ 令和6年1月24日(水) 【当日消印有効】
試験期日	令和5年8月19日(土)	令和5年12月2日(土)	令和5年12月2日(土)	令和6年2月3日(土)
合格発表	令和5年9月13日(水) 正午	令和6年1月10日(水) 正午	令和6年1月10日(水) 正午	令和6年2月22日(木) 正午

※出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。
出願書類等、入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(<https://www.kmu.ac.jp/juk/>)をご覧ください。

令和6年度大学院看護学研究科学生募集要項（博士前期・博士後期課程） 看

- 募集人員 看護学専攻博士前期課程20名・看護学専攻博士後期課程5名（夏期冬期合計）
※夏期日程で定員に達した場合は、冬期日程は実施いたしません。

■試験概要

	看護学専攻博士前期課程		看護学専攻博士後期課程	
	夏期	冬期	夏期	冬期
出願期間	令和5年7月27日(木)～ 令和5年8月10日(木) 【必着】	令和5年11月2日(木)～ 令和5年11月17日(金) 【必着】	令和5年7月27日(木)～ 令和5年8月10日(木) 【必着】	令和5年11月2日(木)～ 令和5年11月17日(金) 【必着】
試験期日	令和5年8月27日(日)	令和5年12月3日(日)	令和5年8月27日(日)	令和5年12月3日(日)
合格発表	令和5年9月1日(金) 正午	令和5年12月8日(金) 正午	令和5年9月1日(金) 正午	令和5年12月8日(金) 正午

※出願するコース及び出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。
入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(https://www.kmu.ac.jp/juk/fon_graduate/)をご覧ください。

第93回解剖体追悼法要、遺骨返還式

5月15日(月)10時から臨濟宗建仁寺派大本山建仁寺(京都市東山区)において第93回解剖体追悼法要が営まれました。令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学内関係者のみで行っていましたが、本年度は4年振りに通常の形式で執り行いました。関西医科大学白菊会役員、木梨達雄学長、金子一成副学長・医学部長をはじめとする教職員、本学医学部3学年学生が参列し、施主代表の木梨学長が追悼の言葉を述べました。続いて僧侶による読経の後、参列者による焼香が行われました。

その後、11時からは遺骨返還式を挙げる。医学の発展に寄与するため篤志によりご献体くださった故人のご遺族の方々へ木梨学長より遺骨の返還が行われました。



追悼の意を述べる木梨学長

3学部合同授業実施

4月20日(木)14時から、枚方市総合文化芸術センター関西医大大ホールにおいて、医学部、看護学部、リハビリテーション学部の1学年学生を対象とした3学部合同授業が行われました。これは3つの学部をもつ医療系複合大学である本学ならではの授業で、医学部136名、看護学部101名、リハビリテーション学部105名のあわせて342名の学生が参加しました。

第一部では、山下敏夫理事長による講義が行われ、本学の草創期からの歴史や現状、将来の展望について語られました。

第二部では木梨達雄学長が『「生命」と「いのち」を見つめるまなざし』と題した講義で、自身が免疫学の研究者を目指したきっかけや研究者としてのこれまでの経験を振り返りながら、医療に携わる者としての志について説きました。

なおこの授業は、本学で医療人をめざす学習者として3学部の全学生が受講する科目の一環です。この科目は他学部生との交流やディスカッション、演習を行うことにより、互いの職業の専門性、役割・責務を理解したうえで尊重した関わりができるための土台づくりを目的としています。



学生に語りかける山下理事長



講義をする木梨学長

慈仁会役員・看護学部保護者会役員・リハビリテーション学部保護者会役員について

4月5日(水)15時15分から枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールにおいて「令和5年度慈仁会定期総会」が、6月3日(土)11時から枚方キャンパス看護学部棟3階講義室2において「令和5年度関西医科大学看護学部保護者会総会」が、6月3日(土)11時から牧野キャンパスリハビリテーション学部棟2階大講義室1において「令和5年度関西医科大学リハビリテーション学部保護者会総会」がそれぞれ開催されました。また、本年度の各学部保護者会主要役員は以下の方々です。

慈仁会主要役員

- 委員長 羽原 弘造
- 会計委員 月川 裕恵
- 監事 永末 純子
- 監事 畑 洋

看護学部保護者会主要役員

- 会長 酒井香代子
- 理事 弘中 礼子
- 理事 角田 美樹
- 理事 森 祐佳
- 理事 矢寺 路代
- 理事 澤邊 恵理
- 理事 青木 美貴
- 理事 上田 万喜
- 理事 中川 靖子
- 会計 角田加依子
- 監事 村尾美紀子
- 監事 人見 美鈴

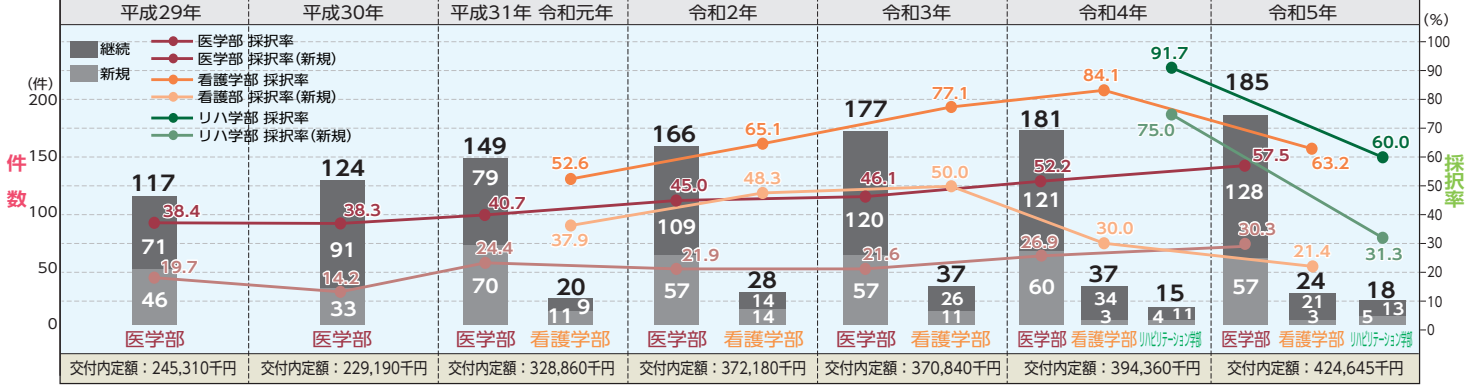
リハビリテーション学部保護者会主要役員

- 委員長 松森 恵理
- 委員 木村 和男
- 委員 原田 義広
- 委員 眞野 浩
- 委員 川口 真紀
- 委員 六車 樹里
- 委員 串田 信彦
- 会計委員 長崎 妙子
- 監事 河本真由美
- 監事 百瀬 嘉洋

令和5年度科学研究費助成事業交付内定者一覽他

文部科学省・日本学術振興会関係

平成29～令和5年度科学研究費採択推移



令和5年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 交付内定額 (代表者分) 一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
学術変革領域研究 (A)	2	7,800,000	2,340,000	10,140,000
学術変革領域研究 (B)	2	22,900,000	6,870,000	29,770,000
基盤研究 (B)	26	93,000,000	27,900,000	120,900,000
合計	30	123,700,000	37,110,000	160,810,000

(単位: 円)

令和5年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 交付内定額 (代表者分) 一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
基盤研究 (C)	145	136,900,000	41,070,000	177,970,000
若手研究	41	46,050,000	13,815,000	59,865,000
挑戦的研究 (萌芽)	4	7,400,000	2,220,000	9,620,000
研究活動スタート支援	6	6,600,000	1,980,000	8,580,000
国際共同研究強化 (B)	1	5,600,000	1,680,000	7,280,000
合計	197	202,550,000	60,765,000	263,315,000

(単位: 円)

令和5年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 交付内定者 (代表者) 一覽 (文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
学術変革領域研究(B) 継続	医化学講座	寿野 良二	准教授	過渡的タンパク質複合体の高速構造解析プラットフォームの構築	10,500,000	3,150,000
学術変革領域研究(B) 新規	生理学講座	石井 宏憲	助教	サルのコントラリアン意思決定の行動・神経基盤解明	12,400,000	3,720,000
学術変革領域研究(A) (公募型) 新規	薬理学講座	中邨 智之	教授	細胞外マトリックスの組み立てと作り分けの分子機構	4,900,000	1,470,000
	生理学講座	安田 正治	講師	認知・身体の複合的情動に基づく質感の神経機構の解明	2,900,000	870,000
基盤研究(B) 新規	基礎看護学領域	鯨島 輝美	教授	教育DX化にともなう技術教材の教育的意義・活用の開発を目指したアクション・リサーチ	5,200,000	1,560,000
	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助教	神経膠芽腫治療に向けた革新的な抗体医療技術の開発	3,800,000	1,140,000
	がん生物学部門	坂本 毅治	教授	がん治療薬誘導性間質細胞老化の分子病態の解明と治療応用	5,400,000	1,620,000
	iPS幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助教	ヒト造血幹細胞体外無限増幅システムの開発	6,100,000	1,830,000
基盤研究(B) 継続	医化学講座	寿野 良二	准教授	バイアスリガンド開発に資するG蛋白質/アレスチン-GPCR複合体の構造解析	2,000,000	600,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B) 継続	生理学講座	中村 加枝	教授	負の情動下の意思決定行動変容の神経基盤：拡張扁桃体-大脳基底核回路の探求	2,200,000	660,000
	地域看護学領域	大川 聡子	教授	10代母親の逆境の小児期体験(ACE)を踏まえた妊娠からの訪問プログラム開発	2,400,000	720,000
	衛生・公衆衛生学講座	中村 晴信	非常勤講師	体組成測定による骨・筋・脂肪の量・分布の可視化が成長期の食行動変容に及ぼす影響	2,300,000	690,000
	こども看護学領域	加藤 令子	教授	障がい等のあるこどもが自然災害に備えるセルフケア獲得・定着を可能とするツール開発	2,300,000	690,000
	神経機能部門	小早川 高	准教授	先天的恐怖臭による致死的な低酸素環境での生存能力の誘導原理	3,900,000	1,170,000
	神経機能部門	小早川 令子	教授	先天的恐怖情動が持つ生命保護作用の解明	3,900,000	1,170,000
	腫瘍病理学部門	川崎 善博	准教授	多機能性を有したWnt/c-Myc標的lncRNAによる細胞癌化機構の解明	3,700,000	1,110,000
	基盤開発部門	花岡 宏史	教授	At-211標識アミノ酸を用いた治療効果の高い α 線治療法の創出	3,700,000	1,110,000
	脳神経外科学講座	浅井 昭雄	教授	脳腫瘍の再発予知と予防薬の開発	2,200,000	660,000
	内科学第三講座	山敷 宣代	講師	禁酒継続に向け医療者-患者双方向を支援するデジタルヘルス環境の構築	2,200,000	660,000
	リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	教授	片麻痺歩行再建の治療指針を提供するAIシステムの基盤形成	1,900,000	570,000
	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	教授	超精密個別化ゲノム解析法の開発による遺伝性疾患の病因病態解明	2,500,000	750,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	多能性幹細胞の自己組織化能の促進とアセンブルによる小脳オルガノイドモデルの創出	5,800,000	1,740,000
		木梨 達雄	学長	インテグリンによる細胞相互作用の可塑性と堅牢性の生成メカニズムと生体機能の解明	4,500,000	1,350,000
	薬理学講座	中野 智之	教授	弾性線維の形成と再生の分子機構の解明	4,500,000	1,350,000
	医化学講座	片野 泰代	准教授	中枢神経系の可塑的変化を病態基盤とする慢性疼痛とうつ病の新規分子機序の解明	3,700,000	1,110,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	大脳皮質基底核変性症の疾患モデル構築と病態解明	4,500,000	1,350,000
	内科学第二講座	塩島 一朗	教授	Wnt5a-Yap axisによる心筋細胞メカノトランスダクション制御機構の解明	4,800,000	1,440,000
	基礎看護学領域	山下 裕紀	准教授	脳卒中失語症者の社会性回復を目指したcommunionの実装	3,800,000	1,140,000
	理学療法学科	野村 卓生	教授	高齢糖尿病患者の身体的フレイル予防を目的とした予後予測に基づく介入戦略の構築	3,100,000	930,000
理学療法学科	前澤 仁志	准教授	BMI、脳刺激法、AIを融合したテラーメイド型嚥下機能再建法とその神経基盤解明	2,600,000	780,000	

(単位：円)

令和5年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	生物学教室	岡野 圭子 (今井圭子)	講師	シアノバクテリアの頑健な概日リズムを実現するKaiC複合体の新規翻訳後制御の解析	1,500,000	450,000
	医化学講座	井上 明俊	助教	慢性掻痒の創薬に向けた中枢痒み受容体GRPR、NMBRの構造基盤の解明	1,500,000	450,000
	解剖学講座	林 真一	講師	完全再生動物イモリにおける脊髄再生原理の解明と非再生動物の再生阻害要因克服	1,300,000	390,000
	生理学講座	宮内 哲	非常勤講師	閉じた目の瞳の大きさは変化するのか？ - 閉眼・睡眠時の瞳孔径と眼位計測法の開発 -	700,000	210,000
	ゲノム解析部門	安河内彦輝	講師	生体・細胞の全遺伝子発現変動に基づく急性低酸素応答を駆動する主要遺伝子群の解明	2,100,000	630,000
	生物学教室	上村 允人	助教	嗅内皮質-海馬間の神経基盤形成におけるプロトカドヘリンの分子機構と生理学的意義	1,400,000	420,000
	神経機能部門	松尾 朋彦	研究員	致死的低酸素環境下での生存期間延長を可能とする脳神経核の同定および作用機序の解明	1,200,000	360,000
	生理学講座	武藤 恵	講師	海馬生後発達における代謝型グルタミン酸受容体のサブタイプ特異的機能の解明	1,700,000	510,000
	基礎看護学領域	和田 幸恵 (平原幸恵)	教授	スルファテド分子種の局在解析によってオリゴデンドロサイトの異種性を特徴づける	700,000	210,000
	薬理学講座	富川 直樹	助教	Lysyl oxidase欠損により発症する大動脈瘤形成機序の解明	1,000,000	300,000
	病理学講座	葛 幸治	教授	位相差顕微鏡ならびに蛍光細胞染色を用いた迅速細胞診の精度向上への試み	900,000	270,000
	生体情報部門	住吉 麻実	助教	Arf経路を介したT細胞脂質代謝リプログラミングの分子基盤解明	1,400,000	420,000
	分子遺伝学部門	植田 祥啓	講師	Rap1によるインテグリン非依存的T細胞活性化機構の解明	1,200,000	360,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額		
					直接経費	間接経費	
基盤研究(C) 新規	外科学講座	矢内 洋次	講 師	遺伝性乳癌卵巣癌症候群の乳癌発症機構の解明を基軸とした予防的乳房切除の指標確立	1,400,000	420,000	
	外科学講座	橋本 大輔	講 師	肺癌腹膜播種における新規ターゲットに対する光免疫療法の開発	1,800,000	540,000	
	腎泌尿器外科学講座	吉田 崇	助 教	組織表現型に基づいた腎癌オルガノイドの樹立と新規治療戦略の創出	1,300,000	390,000	
	内科学第三講座	島谷 昌明	教 授	腫瘍性膵嚢胞および膵癌の発症早期予測を可能にする新規バイオマーカーの開発の研究	1,200,000	360,000	
	内科学第一講座	伊藤 量基	教 授	樹状細胞をターゲットにした、JAK阻害の有効性と副次反応の一次的機序解明	1,200,000	360,000	
	精神神経科学講座	嶽北 佳輝	准教授	緊張病の分子生物学的病態解明を目指した横断/縦断研究	900,000	270,000	
	放射線科学講座	中村 聡明	教 授	積極的骨転移診療に向けた放射線治療適応スコアの開発	1,400,000	420,000	
	外科学講座	石崎 守彦	講 師	根治不能肝細胞癌に対するEphA2遺伝子を標的とした新規核酸医薬の開発	1,000,000	300,000	
	iPS・幹細胞再生医学講座	服部 文幸	教 授	TGFβ1を用いたヒトiPS細胞由来心筋細胞による心臓再生医療の高度化	1,200,000	360,000	
	薬理学講座	平井 希俊	講 師	メカニカルストレスのかかる心筋細胞核におけるゲノム高次構造の役割の解明	1,400,000	420,000	
	内科学第二講座	塚口 裕康	講 師	蛋白翻訳プロセスから探る腎と神経発達障害の分子機構	1,400,000	420,000	
	内科学第一講座	佐竹 敦志	准教授	セマフォリン4Aから迫る移植後大量エンドキサン療法最適化のための基礎的研究	1,300,000	390,000	
	精神神経科学講座	船橋 紀也	助 教	肝胆膵癌に対する高侵襲手術におけるせん妄の病態探求および術後経過との関連性の検討	500,000	150,000	
	外科学講座	里井 壯平	教 授	光免疫療法による腹膜播種膵癌に対する新規治療法の確立	1,100,000	330,000	
	救急医学講座	敏方 安行	教 授	敗血症ショックに対するチアゾリン類恐怖臭物質を利用した新たな循環管理法の開発	1,400,000	420,000	
	救急医学講座	室谷 卓	講 師	腸管虚血再灌流障害の軽減のための薬剤・チアゾリン類恐怖臭の効果の検討	1,700,000	510,000	
	脳神経外科学講座	李 強	助 教	AMPA受容体をターゲットとしたグリオーマの創薬基盤	1,300,000	390,000	
	衛生・公衆衛生学講座	村上 由希	助 教	骨粗鬆症の予防および改善に有効な新規機能性分子の探索と作用機序の解明	1,100,000	330,000	
	整形外科科学講座	安藤 宗治	嘱託医	脊椎髄術中神経生理モニタリングの精度の向上に関する研究	900,000	270,000	
	整形外科科学講座	植田 成実	助 教	NGSを用いたインプラント周囲感染・骨髄炎細菌叢と薬剤耐性遺伝子網羅的解析	1,800,000	540,000	
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	岩井 大	教 授	骨髄細胞接種による老人性難聴予防の検討	1,200,000	360,000	
	眼科学講座	盛 秀嗣	講 師	LTBP2遺伝子欠損マウスに外的刺激アドオンによる落屑症候群モデルマウスの作成	1,000,000	300,000	
	附属病院・歯科口腔外科・口腔ケアセンター	坂本 由紀	助 教	高齢者の睡眠時無呼吸とサルコペニアの関連解明	1,900,000	570,000	
	産科学・婦人科学講座	佐藤 智佳	助 教	遺伝性乳癌卵巣癌患者のリスク低減乳房切除術とQOLの関連検討	1,300,000	390,000	
	精神看護学領域	三木 明子	教 授	医療・在宅現場の暴力・ハラスメント対策を促進するためのツール開発	1,300,000	390,000	
	理学療法学科	宮本 俊朗	准教授	入院期の身体機能維持を目的とした身体活動補完プログラムの基盤創出	700,000	210,000	
	理学療法学科	福元 喜啓	准教授	超音波法を用いた筋変性推定モデルの構築と実用性検証	2,900,000	870,000	
	呼吸器腫瘍内科学講座	勝島 詩恵	助 教	外来化学療法中の進行・再発がん患者の包括的がんリハビリテーションプログラムの開発	1,100,000	330,000	
	基盤研究(C) 継続	作業療法学科	福井 信佳	教 授	障がい者を開示して就業した高学歴発達障がい者の職場定着に関する研究	700,000	210,000
		分子遺伝学部門	近藤 直幸	講 師	病原性小胞の抑制を目指したインテグリン含有小胞の制御機序の解明	900,000	270,000
麻酔科学講座		萩平 哲	教 授	麻酔中の脳波による鎮痛モニタリング法の開発	600,000	180,000	
内科学第一講座		玉置 岳史	講 師	進行期肺癌に対する癌化学療法への医療経済的なアプローチによる解析	300,000	90,000	
看護学教育領域		太田 祐子	准教授	対話的リフレクションを契機としたキャリア中期看護職の成長に関する研究	400,000	120,000	
慢性疾患看護学領域		村内 千代	講 師	50歳未満成人2型糖尿病患者の治療中断リスク評価ツールの開発	500,000	150,000	
慢性疾患看護学領域		大原 千園	講 師	パーキンソン病患者の身体性を意識した看護援助指針の開発と検証	800,000	240,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	クリティカルケア看護学領域	宇都宮明美	教授	高齢開心術患者への多職種フレイル介入教育モデルの開発	600,000	180,000
	慢性疾患看護学領域	瀬戸奈津子	教授	高齢慢性疾患患者を対象とした外来看護包括的アセスメントツールの開発	1,000,000	300,000
	母性看護学領域	小山 里織	准教授	夫婦が一緒に育児に向き合うためのサポートシステムの提案	500,000	150,000
	物理学教室	楠本 邦子	准教授	シジミの貝殻色の決定因子の解明：べっこうシジミはなぜ生じるのか	700,000	210,000
	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講師	細胞接着制御因子Rap1による新たな好中球細胞死制御メカニズムの解明	900,000	270,000
	解剖学講座	大江 総一	講師	脳由来胆汁酸の機能解明と脳梗塞新規治療デザイン確立への応用	1,000,000	300,000
	モデル動物部門	村山 正承	講師	変形性関節症におけるCTRPファミリーの分子機序解明及び治療薬・治療法開発	1,400,000	420,000
	衛生・公衆衛生学講座	保坂 直樹	研究員	再生胸腺微小環境によるT細胞の誘導 — γ δ T細胞の産生と悪性腫瘍への応用—	800,000	240,000
	放射線科学講座	狩谷 秀治	准教授	蛋白質着抑制コートはバイオフィルム形成を阻止しカテーテルへの細菌付着を妨げるか？	1,000,000	300,000
	生理学講座	安田 正治	講師	臓器感覚入力系におけるモノアミン神経細胞の情動表現解析	700,000	210,000
	医化学講座	松村 伸治	准教授	μ および δ オピオイド受容体二量体のがん疼痛維持機構における役割の解明	800,000	240,000
	心療内科学講座	蓮尾 英明	教授	がん患者の不眠障害に対する完全在宅型心拍変動バイオフィードバックシステムの開発	1,200,000	360,000
	小児科学講座	石崎 優子	教授	起立性調節障害児のデコンディショニングに対するトレーニングプログラムの開発	200,000	60,000
	内科学第二講座	岩崎 真佳	研究員	食後代謝異常が造血幹細胞老化を誘導する際のヒストン脱メチル化酵素の役割	600,000	180,000
	内科学第二講座	藤井 健一	講師	深層学習による冠動脈粥腫自動診断システムの開発とその臨床応用に関する研究	200,000	60,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	人見 浩史	教授	iPS細胞由来内分泌細胞を用いた新規治療法開発	700,000	210,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	藤岡 龍哉	准教授	急性骨髄性白血病に対するCAR-T療法の開発	900,000	270,000
	外科学講座	奥山 哲矢	博士研究員	肝虚血再灌流障害に対するセンスオリゴヌクレオチドを用いた新規核酸医薬の開発研究	500,000	150,000
	外科学講座	松井 康輔	准教授	肝細胞癌に対するレンパチニブ内包スマートメッシュを用いた新規治療デバイスの開発	900,000	270,000
	外科学講座	山木 壮	助教	腺癌細胞におけるadipophilinの発現とグルタミン代謝メカニズムの解明	500,000	150,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	白水 泰昌	講師	ヒトiPS細胞由来肝幹細胞様細胞を用いた代謝異常性肝疾患の治療	1,000,000	300,000
	麻酔科学講座	上林 卓彦	教授	脳死ラットにおける新規心不全治療薬による心筋保護効果の検討	800,000	240,000
	麻酔科学講座	中畑 克俊	講師	妊娠高血圧と中枢神経性調節：機能的磁気共鳴イメージングを用いた脳機能的結合性解析	400,000	120,000
	外科学講座	中竹 利知	助教	iNOSセンスオリゴヌクレオチドを中心とした敗血症治療に対する基盤構築	1,500,000	450,000
	麻酔科学講座	金沢 路子	助教	病態解明と創薬を目標とした妊娠高血圧症候群患者の血小板中microRNA解析	700,000	210,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	教授	プレジジョン・メディシンに向けた悪性脳腫瘍の治療パッケージの創製	600,000	180,000
	脳神経外科学講座	岩田 亮一	非常勤講師	遠隔転移の予防に向けた新規免疫調節因子の発現メカニズムの解明	600,000	180,000
	整形外科科学講座	足立 崇	講師	次世代シーケンサーによる椎間板・椎体および脊椎インプラントに存在する細菌叢の探究	100,000	30,000
	小児科学講座	木全 貴久	非常勤講師	乳幼児の反復性尿路感染症における腸内細菌層是正による新規予防法の確立	1,200,000	360,000
	腎泌尿器外科学講座	木下 秀文	教授	Augmented Realityを利用した、追体験型手術教育法の開発と評価	500,000	150,000
	腎泌尿器外科学講座	谷口 久哲	講師	ミトコンドリア代謝を指標とした、新規ヒト精子品質評価技術の確立と品質維持への試み	1,500,000	450,000
	産科学・婦人科学講座	岡田 英孝	教授	内分泌・低酸素環境における子宮内膜分化機構の解明	700,000	210,000
	産科学・婦人科学講座	村田 紘未	講師	子宮内膜免疫寛容の転写制御機構を解明する	700,000	210,000
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	濱田 聡子	講師	スギ花粉症舌下免疫療法に対するCX3CR1を指標としたバイオマーカーの開発	1,100,000	330,000	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	杉田 侑己	研究員	胸腺移植を用いた細胞性免疫機能改変による老人性難聴予防とヒトへの応用	1,000,000	300,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	形成外科学講座	松岡 祐貴	研究医員	血管リモデリングマウスを用いた血管スバズムモデルの開発と新規スバズム抑制薬の検討	700,000	210,000
	麻酔科学講座	伊藤明日香	講 師	COVID-19における急激な病態悪化メカニズムの解明および予防ターゲットの提示	1,200,000	360,000
	神経内科学講座	薬師寺祐介	教 授	アルツハイマー病発症リスクを層別化する中年期脳微細血管障害スコアモデルの構築	800,000	240,000
	精神看護学領域	矢山 壮	准教授	看護師のメンタルヘルスケアのためのWRAP有用性の検証	1,300,000	390,000
	がん看護学領域	橋本理恵子	講 師	治療を受ける若年成人がん患者の心理的適応を促進する看護ケアプログラムの開発	500,000	150,000
	がん看護学領域	青木 早苗	教 授	遺伝リスクがある乳がん女性のセルフ・トランセンデンスを促進する外来看護指針の開発	700,000	210,000
	精神看護学領域	的場 圭	講 師	精神科病院の看護職員による入院患者への不適切ケア・虐待を防止するための指針の構築	1,300,000	390,000
	母性看護学領域	岩國亜紀子	研究員	妊婦が非対称性骨盤の改善とつわりの軽減を目指すセルフケアへの支援：RCT効果検証	400,000	120,000
	母性看護学領域	酒井ひろ子	教 授	認知行動療法を基礎とした妊婦禁煙アプリの開発と長期的禁煙継続の評価	300,000	90,000
	在宅看護学領域	高橋美沙子	講 師	認知症高齢者の住まい変更の移行期を支えるプログラム開発のための基礎的研究	400,000	120,000
	理学療法学科	池添 冬芽	教 授	骨格筋変性の加齢変化の解明および筋変性予防に効果的なトレーニング法の開発	1,200,000	360,000
	理学療法学科	中野 治郎	教 授	腫瘍の形成抑制を狙った酸素濃度調節環境下での運動療法の開発	600,000	180,000
	理学療法学科	脇田 正徳	助 教	2レーン式トレッドミルを用いた転倒予防練習の運動解析と治療アルゴリズムの開発	200,000	60,000
	小児科学講座	高屋 淳二	非常勤講師	コロナ禍による小児の貧困・体格・生活スタイルの変容	1,000,000	300,000
	外科学講座	小坂 久	講 師	癒着制御剤を内包したスマートシートによる術後癒着予防効果の検討	1,000,000	300,000
	心理学教室	西垣 悦代	教 授	大学生のためのICTを活用した総合的セルフケアプログラムの開発と実践	1,300,000	390,000
	生理学講座	倉岡 康治	助 教	不信任に抗って他者を信頼する脳内機構	1,200,000	360,000
	医化学講座	前野 覚大	助 教	セレウス菌芽胞の圧力ストレス応答における不活性化誘起因子の分子論的・形態学的解析	600,000	180,000
	病理学講座	松浦 徹	講 師	哺乳類胚の着床を可能とする細胞間相互作用の解明	800,000	240,000
	解剖学講座	関 亮平	助 教	イモリ脊髄損傷後の組織再構築における免疫環境の重要性	1,000,000	300,000
	解剖学講座	北田 容章	教 授	成体型再生を可能とする成体イモリの脊髄再生における神経細胞新生の意義の検証	900,000	270,000
	薬理学講座	三木 貴雄	講 師	がんと概日リズムの関連より同定したRBによる新規標的制御機構の解明	1,000,000	300,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	木村 俊哉	助 教	患者iPS細胞を用いたオプティニューリン変異による神経変性機構の解明	1,000,000	300,000
	医化学講座	西田 和彦	助 教	内臓痛特有の痛みをもたらす脊髄神経回路の同定とそのin vivo機能解析	900,000	270,000
	作業療法学科	三木 恵美	准教授	外来治療中の乳がん患者に対する就労支援リハビリテーションプログラムの開発	700,000	210,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	小林 良樹	講 師	好酸球性エクソソーム由来miRNAから難治性好酸球性気道炎症の病態を探る	1,100,000	330,000
	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	HTLV-1関連脊髄症の新規治療薬スクリーニングに向けた感染モデルの構築と応用	1,100,000	330,000
	精神神経科学講座	加藤 正樹	准教授	オミックスと長期評価による適切なゴールを目指す気分障害の革新的治療の基盤構築	700,000	210,000
	精神神経科学講座	許 全利	助 教	無床精神科における成人発症Ⅱ型シトルリン血症の実態調査研究	500,000	150,000
	放射線科学講座	丸山 拓士	研究医員	リンパ還流障害の中核に画像ガイド下でリンパ管-静脈バイパスを作成する動物実験	600,000	180,000
	精神神経科学講座	齊藤 幸子	講 師	精神分析的治療法は自閉スペクトラム症患者のミラーニューロンシステムを補強するか	900,000	270,000
	放射線科学講座	小野 泰之	助 教	PMEAコーティングの生体内長期抗菌効果の証明	1,200,000	360,000
脳神経外科学講座	磯崎 春菜	助 教	転写因子を標的とした脊髄髄膜瘤の予防法の開発	300,000	90,000	
小児科学講座	辻 章志	准教授	腸内細菌叢の乱れに着目した小児微小変化型ネフローゼ症候群の病因解明と治療法の開発	1,000,000	300,000	
内科学第三講座	長沼 誠	教 授	活性化血小板をターゲットとした炎症性腸疾患バイオマーカー同定と新規治療法の開発	1,300,000	390,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	内科学第三講座	福井 寿朗	准教授	pSmad2/3L-Thr発現に着目した消化管癌の発癌・進展機構解析と臨床応用	900,000	270,000
	内科学第三講座	本澤 有介	講 師	コラーゲン特異的分子シャペロンHSP47を用いたクローン病腸管狭窄治療法の開発	900,000	270,000
	内科学第三講座	田原 智満	講 師	日本人のバレット食道患者の癌化リスクに係わる分子異常と要因	1,100,000	330,000
	内科学第二講座	高木 雅彦	教 授	単極記録型ホルター加算平均心電図のJ波症候群における有用性の検討	700,000	210,000
	腎泌尿器外科学講座	元木 佑典	助 教	副腎皮質オルガノイドを用いた自家移植法の開発	1,100,000	330,000
	外科学講座	海堀 昌樹	教 授	抗癌剤内包型フタロシニン修飾リポソームを用いた胆嚢癌に対する新規治療法開発	1,300,000	390,000
	麻酔科学講座	岩崎 光生	講 師	脳死ドナーの臓器保護戦略 医療ガスを用いての検討	800,000	240,000
	麻酔科学講座	竹下 淳	研究医員	重症敗血症病態の白血球減少に関与するmicroRNAと標的遺伝子、蛋白質の同定	800,000	240,000
	侵襲反応制御部門	松尾 禎之	講 師	ナノボアシークエンサーによる血中マイクロバイーム解析に基づく敗血症診断技術開発	1,100,000	330,000
	救急医学講座	池側 均	准教授	ショック時に発生する腸管循環異常の病態解明とその制御方法に関わる研究	1,100,000	330,000
	麻酔科学講座	影山 京子	研究医員	播種性血管内凝固症候群の血小板減少に関与するmicroRNAと標的遺伝子の同定	800,000	240,000
	脳神経外科学講座	李 一	助 教	がん幹細胞を標的とした標準免疫療法の開発	1,100,000	330,000
	脳神経外科学講座	武田 純一	講 師	二分脊椎症と診断された患者およびその家族を対象とした原因遺伝子の探索	400,000	120,000
	脳神経外科学講座	内藤 信晶	研究医員	がん幹細胞の遊走を制御するイオンチャネルの分子基盤	700,000	210,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	朝子 幹也	准教授	花粉食物アレルギー症候群における歯科用金属のアジュバント効果の検討	1,000,000	300,000
	臨床検査医学センター	神田 晃	教 授	好酸球性嗅覚障害の機序解明とEDNをターゲットにした新しい治療戦略の構築	900,000	270,000
	眼科学講座	佐々木香る	准教授	抗VEGF薬治療時の抗菌薬点眼反復投与による結膜常在細菌叢のdysbiosis	1,100,000	330,000
	眼科学講座	高橋 寛二	教 授	網膜静脈症モデル動物における高血圧の影響について	500,000	150,000
	形成外科講座	覚道奈津子	教 授	ヒト脂肪幹細胞の陰圧負荷培養を応用した創傷治癒・血管新生効果の解明と応用	800,000	240,000
	形成外科講座	畔 熱行	講 師	組織の水点下非凍結による保存	800,000	240,000
	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	兒島 由佳	教 授	抜歯後MRONJ発症機序の解明および予防策の確立	800,000	240,000
	精神看護学領域	手嶋 大喜	助 教	訪問看護事業所間協同による暴力・ハラスメントのリスクマネジメント体制の構築	500,000	150,000
	衛生・公衆衛生学講座	三宅 眞理	非常勤講 師	AIを用いた高齢者の健康診断と個別支援プログラムの開発	400,000	120,000
	理学療法学科	佐藤 春彦	教 授	脳性麻痺児への安全確実な睡眠姿勢ケアの実践を支援する遠隔相談と変形予防効果の検証	1,100,000	330,000
	作業療法学科	松島 佳苗	准教授	協調運動障害における予測的運動制御の発達の評価指標の開発	300,000	90,000
	内科学第二講座	竹花 一哉	准教授	日本循環器学会データ出力標準フォーマットを用いた心臓核医学検査情報の管理	900,000	270,000
放射線科学講座	中谷 幸	講 師	CT透視ガイド下穿刺を姿勢制御技術を搭載したデバイスで補助する研究	300,000	90,000	
若手研究 新規	神経機能部門	松田 烈士	研究員	グリア細胞による休眠様低代謝誘導の機序と役割の解明	1,900,000	570,000
	がん生物学部門	田中 伯享	助 教	KRAS阻害剤による低酸素応答のリプログラミングに関する解析	2,000,000	600,000
	神経内科学講座	村上 綾	助 教	神経栄養因子NRG1を標的とした脳アミロイドアンギオパチーの病態解明と治療薬の探索	2,500,000	750,000
	神経内科学講座	峠 理絵	助 教	セロトニン系を標的とした新規治療法開発に資するレポドバ誘発性ジスキネジア病態解明	1,300,000	390,000
	放射線科学講座	小池 優平	助 教	Dual energy CTに基づくエネルギー特異的Radiomics解析：頭頸部癌予後予測モデル開発	1,800,000	540,000
	小児科学講座	赤川 翔平	講 師	機能性大麦を用いた腸内細菌叢の是正が小児食物アレルギー患者の治療効果に及ぼす影響	1,800,000	540,000
	内科学第二講座	堀谷 啓太	助 教	SGLT2阻害剤の免疫細胞への影響と心不全予後を改善するメカニズムの解明	1,400,000	420,000
	小児科学講座	大町 太一	講 師	ある脱ユビキチン化酵素が標的とする転写因子の探索を通した赤血球造血機構の解明	1,600,000	480,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 新規	外科学講座	小林 壽範	助 教	浸潤突起に着目した大腸直腸癌の予後不良因子“粘液腫状間質”形成メカニズムの解明	1,100,000	330,000
	救急医学講座	尾上 敦規	助 教	開放骨折症例での迅速感染症診断を可能にする超小型シーケンスシステムの確立	1,700,000	510,000
	小児科学講座	赤川友布子	研究医員	尿中細菌叢を標的としたクランベリーによる過活動膀胱の新たな治療戦略開発	1,900,000	570,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	尹 泰貴	助 教	ガレクチン1とS100A8の時空的発現不均衡からみた好酸性副鼻腔炎への新規創薬	1,400,000	420,000
	法医学講座	眞鍋 翔	助 教	人工知能による遺留DNAの由来となる個人のデータベース探索法の開発	1,300,000	390,000
	心療内科講座	佐久間博子	研究員	看護師が行う超音波画像診断装置を用いたGastric outlet obstruction評価方法の開発	1,200,000	360,000
	作業療法学科	山下 円香	助 教	脳ネットワークを指標とした学習理論に基づく高齢者の認知トレーニングの開発	1,100,000	330,000
	理学療法学科	森 公彦	助 教	片麻痺歩行の多関節運動制御と運動学的特徴の相互連関に基づいた歩行障害の類型化	2,400,000	720,000
	理学療法学科	山縣 桃子	助 教	膝関節の個別化筋骨格モデルに基づいた定型化筋骨格モデルの構築	1,700,000	510,000
若手研究 継続	精神神経科学講座	西田圭一郎	講 師	マインドフルネスへの経頭蓋直流刺激tDCSによるオーギュメンテーション法の確立	950,000	285,000
	腎泌尿器外科学講座	大杉 治之	助 教	淡明細胞型腎細胞癌の個別化医療を目的としたバイオマーカーの同定	100,000	30,000
	放射線科学講座	上野 裕	助 教	大量ナノバブル存在下で増強したキャビテーションによる経皮吸収促進の評価	600,000	180,000
	眼科学講座	大庭 慎平	助 教	網膜静脈閉塞症における側副血行路形成予測方法の開発	800,000	240,000
	クリティカルケア看護学領域	小林 寛子	助 教	在宅療養移行を実現する悪性脳腫瘍患者の外泊看護支援プログラムの作成	300,000	90,000
	国際看護学領域	山本 容子	研究員	サブサハラ・アフリカ地域の児童を対象としたライフスキル尺度の開発	500,000	150,000
	放射線科学講座	河野由美子	講 師	悪性腫瘍に対する新たな放射線塞栓療法の開発	600,000	180,000
	精神神経科学講座	池田俊一郎	講 師	症状評価と客観的指標を用いた摂食障害に対する反復経頭蓋磁気刺激療法の有効性の検証	400,000	120,000
	内科学第三講座	堀谷 俊介	助 教	Rap1不活化制御による制御性T細胞の動態調節とその破綻による腸炎病態への影響	1,200,000	360,000
	作業療法学科	中山 淳	講 師	筋電義手機能を取り入れたハイブリッド型人工筋装具の開発と臨床応用	600,000	180,000
	精神神経科学講座	越川 陽介	研究員	フォーカシングの精神科領域臨床応用のための無作為化比較試験：うつ病とQOL	700,000	210,000
	生理学講座	石井 宏憲	助 教	制限時間依存的な採餌戦略スイッチングの行動・神経基盤を解明する	1,100,000	330,000
	腎泌尿器外科学講座	安田 鐘樹	助 教	前立腺癌担癌マウスへのMST1 inhibitor投与による腫瘍抑制効果の検討	800,000	240,000
	精神神経科学講座	青木 宣篤	助 教	ECTにおけるけいれん発作の成否を包括的に定量化するレジストリ研究とその検証	400,000	120,000
	内科学第三講座	中丸 洸	助 教	1型自己免疫性膵炎における細胞外小胞由来miR-21-5pの病態への関与	500,000	150,000
	内科学第三講座	伊藤 嵩志	助 教	膝管内乳頭粘液性腫瘍に対する制御性T細胞を中心とした新規バイオマーカーの探索	700,000	210,000
	麻酔科学講座	楠 宗矩	助 教	静脈麻酔薬デクスメトミジンによるインスリン分泌抑制機序の解明	1,100,000	330,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	鈴木 健介	講 師	I-131抵抗性の克服による甲状腺癌に対する新規分子標的薬併用放射線療法の開発	1,200,000	360,000
	病理学講座	野田 百合	助 教	口腔腫瘍性病変表層に特異的に発現する新規分化関連タンパク質の発現と作用機序の解析	100,000	30,000
	解剖学講座	中野 洋輔	助 教	学生自身の手による医用画像利用と3Dプリンタ出力の解剖学教育効果の検証	700,000	210,000
母性看護学領域	藤本 綾子	助 教	睡眠の自己調整法を活用した育児期の睡眠支援プログラムの開発	900,000	270,000	
理学療法学科	福島 卓矢	助 教	新たながん悪液質に対するエンドポイントを置いた集学的リハビリテーション介入の開発	1,100,000	330,000	
理学療法学科	梅原 潤	助 教	3次元超音波とエラストグラフィの融合による3次元筋ステイフネスのモデル化	1,500,000	450,000	
健康科学センター	黒瀬 聖司	講 師	減量中のマイオカイン動態による骨格筋機能の制御と身体活動の目標設定	1,100,000	330,000	
挑戦的研究 (萌芽) 継続	医化学講座	小林 拓也	教 授	オピオイドの副作用の要因となるヘテロマー化受容体のシグナル伝達機構の解明	1,500,000	450,000
	基盤開発部門	花岡 宏史	教 授	外部からの光照射を必要としない革新的な光免疫療法の開発	1,600,000	480,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
挑戦的研究 (萌芽) 継続	がん生物学部門	坂本 毅治	教授	転移時のがん-間質相互作用を標識するin vivo ケミカルラベリング法の開発	2,000,000	600,000
	生理学講座	中村 加枝	教授	サル扁桃体-背側縫線核回路の化学遺伝学的操作によるストレス下行動制御機構の解明	2,300,000	690,000
研究活動スタート支援 継続	神経機能部門	松田 烈士	研究員	外側腕傍核を切り口とした痛覚回路による炎症/抗炎症応答制御メカニズムの解明	1,100,000	330,000
	神経機能部門	山田新太郎	研究員	冬眠の低体温における神経機能維持機構の解明~Ca2+ イメージングを用いたアプローチ~	1,100,000	330,000
	基盤開発部門	大谷 拓也	助教	標的指向性分子としてペプチドを用いた次世代光免疫療法薬の開発	1,100,000	330,000
	呼吸器腫瘍内科学講座	竹安 優貴	助教	Impact of lower airway microbiota in advanced non-small cell lung cancer patients treated PD-1/PD-L1 blockade: A Biomarker Study	1,100,000	330,000
	免疫部門	岡村千絵子	助教	自己反応性を回避するワクチンの技術基盤開発	1,100,000	330,000
	理学療法学科	中尾 彩佳	助教	超音波診断装置を用いた新たな筋の伸張量の評価指標の開発	1,100,000	330,000
国際共同研究強化(B) 継続	母性看護学領域	酒井ひろ子	教授	ネパール山間農村部の母子栄養改善に向けた思春期から周産期までの介入効果の検証	5,600,000	1,680,000

(単位：円)

令和4年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学からの転入の代表者等)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
国際共同研究強化(B)	母性看護学領域	酒井ひろ子	教授	ネパール山間農村部の母子栄養改善に向けた思春期から周産期までの介入効果の検証	1,700,000	510,000	2,210,000
基盤研究(B)	衛生・公衆衛生学講座	中村 晴信	非常勤講師	体組成測定による骨・筋・脂肪の量・分布の可視化が成長期の食行動変容に及ぼす影響	2,400,000	720,000	3,120,000
基盤研究(C)	クリティカル看護学領域	宇都宮明美	教授	高齢開心術患者への多職種フレイル介入教育モデルの開発	200,000	60,000	260,000
	がん看護学領域	小山 里織	准教授	夫婦が一緒に育児に向き合うためのサポートシステムの提案	400,000	120,000	520,000
	微生物学講座	神奈木真理	教授	HTLV-1持続感染における腫瘍と炎症をわける免疫環境因子	300,000	90,000	390,000
	作業療法学科	福井 信佳	教授	障がいを開示して就業した高学歴発達障がい者の職場定着の関する研究	500,000	150,000	650,000
	内科学第三講座	本澤 有介	講師	コラーゲン特異的分子シャペロンHSP47を用いたクローン病腸管狭窄治療法の開発	900,000	270,000	1,170,000
挑戦的研究(開拓)	免疫部門	福山 英啓	教授	体内を循環する自己抗原を運ぶ微粒子と自己寛容	1,500,000	450,000	1,950,000
挑戦的研究(萌芽)	がん生物学部門	坂本 毅治	教授	転移時のがん-間質相互作用を標識するin vivoケミカルラベリング法の開発	3,000,000	900,000	3,900,000
	生理学講座	中村 加枝	教授	サル扁桃体-背側縫線核回路の化学遺伝学的操作によるストレス下行動制御機構の解明	1,300,000	390,000	1,690,000
若手研究	理学療法学科	山縣 桃子	助教	変形性膝関節症の重症度や症状に伴う運動学的変化：新手法による筋動態の評価	600,000	180,000	780,000
	作業療法学科	中山 淳	講師	筋電義手機能を取り入れたハイブリッド型人工筋装具の開発と臨床応用	1,700,000	510,000	2,210,000
	解剖学講座	岩下 洸	助教	メラトニン代謝産物であるAMKによる長期記憶形成促進作用と機序	600,000	180,000	780,000
研究活動 スタート支援	神経機能部門	松田 烈士	研究員	外側腕傍核を切り口とした痛覚回路による炎症/抗炎症応答制御メカニズムの解明	1,100,000	330,000	1,430,000
	神経機能部門	山田新太郎	研究員	冬眠の低体温における神経機能維持機構の解明~Ca2+イメージングを用いたアプローチ~	1,100,000	330,000	1,430,000
	基盤開発部門	大谷 拓也	助教	標的指向性分子としてペプチドを用いた次世代光免疫療法薬の開発	1,100,000	330,000	1,430,000
	呼吸器腫瘍内科学講座	竹安 優貴	助教	Impact of lower airway microbiota in advanced non-small cell lung cancer patients treated PD-1/PD-L1 blockade: A Biomarker Study	1,100,000	330,000	1,430,000
	小児科学講座	赤川友布子	研究医員	クランベリージュースが尿中細菌叢に及ぼす影響の検討	1,100,000	330,000	1,430,000
	免疫部門	岡村千絵子	助教	自己反応性を回避するワクチンの技術基盤開発	1,100,000	330,000	1,430,000
	理学療法学科	中尾 彩佳	助教	超音波診断装置を用いた新たな筋の伸張量の評価指標の開発	1,100,000	330,000	1,430,000
特別研究員奨励費	神経内科学講座	橋本 泰昌	研究医員	マウス扁桃体における短縮性ジストロフィンDp140欠損に伴う自閉症様病態の解明	800,000	0	800,000
決定額(追加)合計					23,600,000	6,840,000	30,440,000

(単位：円)

厚生労働省関係

令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	微生物学講座	大隈 和	教授	安全な血液製剤の安定供給に資する適切な採血事業体制の構築のための研究	3,696,000	1,104,000	4,800,000
政策科学総合研究事業	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	戦没者遺骨の身元特定に係るDNA鑑定の精度向上に関する研究	17,500,000	2,800,000	20,300,000
合 計					21,196,000	3,904,000	25,100,000

(単位：円)

令和5年度厚生労働省その他補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
慢性疼痛診療システム均てん化等事業	心療内科学講座	水野 泰之	診療講師	慢性疼痛診療システム均てん化等事業	17,221,000	0	17,221,000
合 計					17,221,000	0	17,221,000

(単位：円)

令和4年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患政策研究事業	香里病院	岡崎 和一	病院長	IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	九州大学 大学院歯学研究院 教授 中村 誠司	500,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	杏林大学 医学部 消化器内科学 教授 久松 理一	300,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教授	ペーチェット病に関する調査研究	日本医科大学 医学部 准教授 岳野 光洋	350,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	神経変性疾患領域の基盤的調査研究	独立行政法人国立病院機構 松江医療センター 名誉院長 中島 健二	700,000
	外科学講座	濱田 吉則	名誉教授	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	東北大学 大学院医学系研究科 客員教授 仁尾 正記	150,000
	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	聖マリアンナ医科大学 医学部 教授 山野 嘉久	200,000
がん政策推進総合研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	患者・家族の意思決定能力に応じた適切な意思決定支援の実践に資する簡便で効果的な支援プログラムの開発に関する研究	国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野 分野長 小川 朝生	300,000
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	微生物学講座	大隈 和	教授	新興・再興感染症等の感染症から献血由来の血液製剤の安全性を確保するための研究	埼玉医科大学 医学部 客員准教授 岡田 義昭	770,000
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	研究教授	我が国における公衆衛生的観点からの健康診査の評価に資する研究	筑波大学 医学医療系 教授 山岸 良匡	300,000
合 計						3,570,000

(単位：円)

令和4年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)	地域看護学領域	上野 昌江	教授	都道府県や県型保健所による子育て世代包括支援センターの機能強化支援のための研究	公益社団法人母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代	400,000
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	整形外科学講座	齋藤 貴徳	教授	サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 糖尿病内分泌代謝科 医長 田辺 晶代	2,500,000
慢性の痛み政策研究事業	麻酔科学講座	中本 達夫	教授	痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	福島県立医科大学 保健科学部 学部長 矢吹 省司	200,000
合 計						3,100,000

(単位:円)

令和4年度厚生労働省その他補助金(分担者)一覧

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	心療内科学講座	水野 泰之	診療講師	慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	国立大学法人滋賀医科大学 医学部 附属病院 ペインクリニック科 講師 福井 聖	1,000,000
合 計						1,000,000

(単位:円)

その他公的研究費

令和4年度 日本医療研究開発機構(AMED)、科学技術振興機構(JST)等委託費等採択一覧

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/研究分担者	研究代表者、共同研究者等(研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構(AMED)	創業支援推進事業・創業総合支援事業(創業プースター)	iPS・幹細胞再生医学講座	服部 文幸	研究教授	新規重症筋無力症治療薬の効果の検証	代表	-	3,310,000	331,000	3,641,000
日本医療研究開発機構(AMED)	創業支援推進事業・創業総合支援事業(創業プースター)	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助 教	インテグリン阻害による新規神経膠芽腫治療薬の探索	代表	-	12,041,819	1,204,181	13,246,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的先端研究開発支援事業ユニットタイプ(AMED-CREST)	神経機能部門	小早川 高	准教授	感覚創業技術のヒト臨床実用化への理論基盤	代表	-	34,142,000	10,242,600	44,384,600
日本医療研究開発機構(AMED)	慢性の痛み解明研究事業	医化学講座	片野 泰代	准教授	新規シナプス分子に着目した神経障害性疼痛の病態機序の解明とその予防および治療薬創出を目指した研究	代表	-	4,500,000	1,350,000	5,850,000
日本医療研究開発機構(AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	エビデンスに基づいた難治性炎症性腸疾患に対する治療ポジショニングの構築	代表	-	8,900,000	2,670,000	11,570,000
日本医療研究開発機構(AMED)	次世代がん医療加速化研究事業	微生物学講座	神奈木真理	客員教授	成人T細胞白血病細胞の抗原性増大による新規免疫療法の開発	代表	-	4,500,000	1,350,000	5,850,000
科学技術振興機構(JST)	創発的研究支援事業	光免疫医学研究所	花岡 宏史	研究所教授	革新的内視鏡治療のための局所投与用光免疫療法薬の創出	代表	-	7,095,000	2,128,500	9,223,500
情報通信(NICT)	高度通信・放送研究開発委託研究事業	健康科学センター	木村 稔	教 授	データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発副題:誰でも利用できる非接触web体力・脳力測定システム開発による自治体と連携した健康事業参加者のすそ野拡大	代表	-	1,020,987	306,296	1,327,283
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的先端研究開発支援事業ユニットタイプ(AMED-CREST)	生理学講座	中村 加枝	教 授	感覚創業技術のヒト臨床実用化への理論基盤	分担	関西医科大学 小早川 高	13,000,000	3,900,000	16,900,000
日本医療研究開発機構(AMED)	次世代がん医療加速化研究事業	内科学第一講座	伊藤 量基	教 授	成人T細胞白血病細胞の抗原性増大による新規免疫療法の開発	分担	関西医科大学 神奈木 真理	1,000,000	300,000	1,300,000

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/研究分担者	研究代表者、共同研究者等(研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合計
日本医療研究開発機構 (AMED)	橋渡し研究プログラム	外科学講座	里井 壯平	診療教授	独自に発見した全く新しいphenotypeのNK様細胞を用いた養子免疫技術の実用化開発:第1相医師主導治験	分担	国立大学法人九州大学教授 米満 吉和	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	新興・再興感染症研究基盤創生事業(多分野融合研究領域)	ゲノム解析部門	安河内彦輝	講師	医学、進化学、情報科学の融合研究による耐性化しない抗マラリア薬の創薬にむけた基盤技術の開発	分担	学校法人順天堂大学教授 美田 敏宏	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	神経内科学講座	薬師寺祐介	教授	ロメリジン塩酸塩によるCADASIL患者に対する脳虚血イベント再発抑制	分担	京都府立大学法人京都府立医科大学教授 水野 敏樹	50,000	15,000	65,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	内科学第一講座	佐竹 敦志	講師	急性骨髄性白血病に対する治療用がんペプチドワクチン「DSP-7888」のPhase2医師主導治験	分担	国立大学法人大阪大学助教 中田 潤	934,694	280,408	1,215,102
日本医療研究開発機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	神経内科学講座	薬師寺祐介	教授	脳出血超急性期患者への遺伝子組換え活性化型VII因子投与の有効性と安全性を検証する研究者主導国際臨床試験	分担	国立研究開発法人国立循環器病研究センター 副院長 豊田 一則	307,693	92,307	400,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)	整形外科講座	齋藤 貴徳	教授	脊髄計による神経機能情報を活用した新たな診断技術の確立	分担	株式会社リコー	0	0	-
日本医療研究開発機構 (AMED)	医療機器等における先進的研究開発・開発体制強化事業	リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	教授	生き生きとした歩行を取り戻すための足関節ロボットの創出を目指した研究開発	分担	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 野田 智之	7,000,000	2,100,000	9,100,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究事業	がん生物学部門	坂本 毅治	学長特命教授	B型肝炎ウイルス排除に向けた新規治療法の最適化と学術基盤の確立	分担	国立大学法人金沢大学教授 本多 政夫	12,000,000	3,600,000	15,600,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究事業	がん生物学部門	坂本 毅治	学長特命教授	B型肝炎ウイルスに対する宿主防御機構の解明と免疫治療の開発に資する研究	分担	国立大学法人金沢大学准教授 水腰 英四郎	19,000,000	5,700,000	24,700,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学講座	藤澤 順一	客員教授	HTLV-1関連疾患の発症リスク、進展メカニズムに関するオミックス統合解析と発症予防に資する基盤的研究	分担	国立大学法人東京大学教授 内丸 薫	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	微生物学講座	大隈 和	教授	HTLV-1の総合的な感染対策に資する研究	分担	国立研究開発法人国立感染症研究所 部長 浜口 功	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	免疫アレルギー疾患実用化研究事業	内科学第一講座	孫 瑛洙	講師	関節リウマチ患者のサルコペニア改善と分子標的薬の寛解休薬をめざした運動療法の治療ストラテジー開発	分担	公立大学法人大阪公立大学教授 橋本 求	220,000	66,000	286,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	薬理学講座	中邨 智之	教授	新規大動脈解離マウスモデルを用いたマルファン症候群等類縁疾患の大動脈解離発症機序の解明	分担	国立大学法人筑波大学教授 柳沢 裕美	2,000,000	600,000	2,600,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第二講座	竹花 一哉	准教授	心臓核医学検査による特発性心筋症病態層別化指標の確立	分担	国立大学法人大阪大学教授 坂田 泰史	400,000	120,000	520,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療加速化研究事業	がん生物学部門	坂本 毅治	学長特命教授	1 炭素代謝酵素とミトコンドリア機能の包括的理解による乳がんの革新的治療法の確立	分担	国立大学法人金沢大学教授 後藤 典子	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	関本 貢嗣	教授	直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 科長 伊藤 雅昭	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	呼吸器腫瘍内科学講座	倉田 宝保	教授	高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究(フォローアップ)	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 分野長 濱田 哲暢	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	井上健太郎	診療教授	病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃痛に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験	分担	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学教授 吉田 和弘	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	心療内科学講座	蓮尾 英明	教授	オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 科長 松岡 弘道	125,000	37,500	162,500
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	呼吸器腫瘍内科学講座	倉田 宝保	教授	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+パメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 中央病院 副院長・呼吸器内科 科長 大江 裕一郎	500,000	150,000	650,000

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構 (AMED)	再生医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変患者に対するG-CSF動員自家末梢血CD34陽性細胞の経肝動脈投与に関する臨床研究	分担	学校法人久留米大学 講師 中村 徹	208,000	62,400	270,400
日本医療研究開発機構 (AMED)	先端のバイオ創薬等基盤技術開発事業	医学講座	小林 拓也	教 授	拡張結晶スポンジ法によるタンパク質の革新的分子構造解析	分担	国立大学法人京都大学 准教授 藤田 大士	4,700,000	1,410,000	6,110,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助 教	国際競争力のある次世代抗体医薬品製造技術開発/革新的な次世代抗体医薬品製造技術の開発	分担	国立大学法人愛媛大学 准教授 竹田 浩之	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	木川雄一郎	助 教	がん患者における患者報告アウトカム尺度開発に関する研究	分担	国立大学法人神戸大学 特命准教授 清田 尚臣	250,000	75,000	325,000
科学技術振興機構 (JST)	未来社会創造事業	心療内科学講座	蓮尾 英明	教 授	QOL計測とハートフルネス実践による食体験共創システム	分担	国立大学法人京都大学 教授 中村 裕一	1,000,000	300,000	1,300,000
科学技術振興機構 (JST)	戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発 (RISTEX))	心療内科学講座	阿部 哲也	准教授	ジェスチャインタフェースを活用した運動機能障害者のための就労・教育支援モデルの構築および人材育成	分担	国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員 依田 育士	600,000	180,000	780,000
北海道大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究プログラム」	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助 教	細胞融合を利用した造血細胞による筋ジストロフィーの根本的治療法の開発	代表	-	2,382,323	267,677	2,650,000
京都大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究プログラム」	薬理学講座	赤間 智也	准教授	新規な硫酸化糖鎖抗体を用いた卵巣がんの検査および治療法の開発	代表	-	1,363,636	176,942	1,540,578
大阪大 (AMED 補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究プログラム」	iPS・幹細胞再生医学講座	白水 泰昌	講 師	ヒトiPS細胞由来代謝異常性肝疾患治療剤の創出を目指した研究	代表	-	1,200,000	140,000	1,340,000
九州大学 (AMED 補助金)	橋渡し研究プログラム(シリーズH)	外科学講座	中竹 利知	助 教	「総合知」を結集したトランスディシiplinary型異分野融合研究基盤の創出シリーズH7「インターロイキン制御を目的とした難治性敗血症に対する核酸医薬の開発」	分担	学校法人立命館大学 助教 白子 紗希	550,000	55,000	605,000
消防庁	消防防災科学技術研究推進制度	救急医学講座	鎌方 安行	教 授	新型コロナウイルス感染症が救急医療体制並びに搬送困難例発生に与えた影響評価	分担	国立大学法人大阪大学 教授 織田 順	307,693	92,307	400,000
農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター (BRAIN)	スタートアップ総合支援プログラム(SBIR支援)フェーズ2	分子遺伝学部門	池田 幸樹	助 教	未利用サメ資源と陸上飼育技術に支えられた次世代抗体開発プラットフォームの事業課	分担	国立大学法人愛媛大学 准教授 竹田 浩之	1,500,000	450,000	1,950,000
農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター (BRAIN)	イノベーション創出強化研究推進事業	リハビリテーション医学講座	菅 俊光	診療教授	持続的安定供給可能な水産資源を活用した医食連携によるフレイル対策及び栄養介入法の確立と、有用成分を含有する次世代機能性水産資源のリスト化を通じた国内水産業活性化への寄与	分担	国立大学法人愛媛大学 教授 岸田 太郎	9,978,000	2,993,000	12,971,000
合 計								163,486,845	44,966,118	208,452,963

(単位：円)

その他外部資金

令和4年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

令和4年度に採択された各種助成財団による研究助成金を下記の研究者が受贈された。(大学を通じての申請分を掲載)
※受贈者の職位は採択時のものです。

研究助成法人・団体等	研究助成名	講座等	氏名	職位	研究課題等	助成額等
公益財団法人ニッポンハム食の未来財団	2022年度研究助成事業 個人研究助成	小児科学講座	赤川 翔平	講 師	機能性大麦を用いた腸内細菌叢を標的とする新たな食物アレルギー治療法の開発	2,000,000
公益財団法人大阪コミュニティ財団	2022年4月助成「難病研究助成」	脳神経外科学講座	梶中 正博	診療教授	二分脊椎症の原因遺伝子の解明	1,000,000

研究助成法人・団体等	研究助成名	講座等	氏名	職位	研究課題等	助成額等
一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究会	令和4年度研究助成金	神経内科学講座	薬師寺祐介	教授	脳卒中・循環器病リスクを予測する脳症血管病神経画像マーカー判読AI開発	2,000,000
一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究会	令和4年度研究助成金	内科学第三講座	池浦 司	准教授	急性膵炎の病態解明と膵酵素阻害薬を用いた新規治療法の開発	2,000,000
公益財団法人立石科学技術振興財団	2022年度研究助成(C)	リハビリテーション医学講座	桑原 高幸	大学院生	片麻痺歩行に対する足関節ロボット治療における適応者および非適応者の特徴分析	1,053,000
公益財団法人大阪腎臓バンク	令和4年度腎疾患研究助成	小児科学講座	赤川友布子	病院助教	新バイオティクスによる尿路感染症の再発予防効果に関する検討	100,000
公益財団法人川野小児医学奨学財団	第33回研究助成<一般枠>	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	二分脊椎症の予防に向けた原因遺伝子の解明:患者ゲノム解析から疾患モデル動物の創出に至るリバーストランスクリプションリサーチ	3,000,000
公益財団法人大阪難病研究財団	2022年度(第28回)医学研究助成	外科学講座	松井 雄基	病院助教	膵臓腹膜播種に対する光免疫療法のターゲットの探索と新規治療法の開発	1,000,000
一般財団法人動脈硬化研究奨励会	動脈硬化研究奨励会 研究助成	がん生物学部門	坂本 毅治	学長特命教授	S001A4標的ペプチドインヒビター NBDのがん抑制遺伝子NMIIA・p53両者の機能相関への影響の解析	1,000,000
公益財団法人武田科学振興財団	医学系研究助成(基礎)	分子遺伝学部門	近藤 直幸	講師	インテグリン-オートファジー経路のクロストークによる新規免疫細胞間接着制御機構の解明への女性	2,000,000
公益財団法人武田科学振興財団	医学系研究助成(がん領域)(基礎)	がん生物学部門	田中 伯享	助教	KRAS阻害剤ががんを取り巻く環境に与える変化に関する解析への助成	2,000,000
公益財団法人武田科学振興財団	特定研究助成	神経機能部門	小早川 高	准教授	感覚創薬技術による脳、肝臓、腸の保護メカニズムの解明への助成	33,000,000
公益財団法人安田記念医学財団	令和4年度癌研究助成	がん生物学部門	坂本 毅治	学長特命教授	腫瘍血管への周皮細胞誘導新規メカニズムの解明	2,000,000
一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	令和4年度サノフィ研究助成	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	尹 泰貴	助教	活性化好酸球制御に向けたガレクチン1の役割解明	1,000,000
一般社団法人日本膵臓学会	令和4年度新規プロジェクト研究	内科学第三講座	池浦 司	准教授	肝転移を伴う膵癌に対するconversion surgeryの異議	250,000
公益財団法人科学技術融合振興財団	調査研究助成	基礎看護学領域	鮫島 輝美	教授	子育てにかかる経験値を社会的共通資本として活用するためのゲーミング開発	836,000
公益財団法人がん研究振興財団	第55回がん研究助成金	理学療法学科	福島 卓矢	助教	術前補助化学療法と手術療法を行う局所進行食道がん患者の社会・経済活動再獲得に向けた多面的機能評価を用いた基礎的研究	500,000
公益財団法人西川医療振興財団	2022年度医学研究活動費助成	小児科学講座	大町 太一	助教	貧血早期診断に向けたAI画像解析スマホアプリの開発	1,000,000
公益財団法人大阪対がん協会	がん研究助成奨励金	がん生物学部門	田中 伯享	助教	KRAS阻害剤の治療効果改善に向けた低酸素応答関連分子の影響の解明	300,000
公益財団法人大阪対がん協会	がん研究助成奨励金	腎泌尿器外科学講座	池田 純一	研究医員	オルガノイド培養を用いたIntraductal carcinoma of the prostate (IDC-P)の導管内浸潤に関わる因子の解明と新規治療ターゲットの開発	300,000
公益財団法人大阪対がん協会	がん研究助成奨励金	がん看護学領域	小川 藍	大学院生	科学放射線療法により味覚障害を有する頭頸部がんサバイバーの症状経過が生活の営みに及ぼす影響と対処法略	300,000
公益財団法人大阪対がん協会	がん研究助成奨励金	呼吸器腫瘍内科学講座	竹内 優貴	病院助教	未治療進行期非小細胞肺癌における下気道細菌叢と抗PD-1抗体の治療効果の検討	300,000
公益財団法人大阪対がん協会	がん研究助成奨励金	理学療法学科	福島 卓也	助教	多面的機能評価を用いた食道がん術後アウトカムのリスク因子の同定	300,000
公益財団法人大山健康科学財団	第49回大山健康科学財団学術研究助成	衛生・公衆衛生学講座	下埜 敬紀	講師	発展途上で使用可能な尿を検体とした活動性結核の新規スクリーニングシステムの開発	1,000,000
公益財団法人中谷医工計測技術振興財団	令和4年度 調査研究助成	小児科学講座	石崎 優子	診療教授	小児慢性疾患患者の成人開港に向けたインタラクティブオンライン移行期手帳の開発	2,960,000
公益財団法人JR西日本あんしん社会財団	公募助成(研究)第1年度	作業療法学科	宮原 智子	助教	高次脳機能障害者の一般就労継続に必要な要因に関する研究	1,590,000

(単位:円)

若手研究者特集

様々な研究活動とその成果が学内外から表彰され、躍動する本学の若手研究者たち。その活躍の一端をご紹介します。記事企画時点で40歳以下で、一定の研究成果を持つ研究者の先生方に取材する連載企画です。

食物繊維が豊富な機能性大麦で腸内の酪酸量増加 腸内細菌叢を通じてアレルギー疾患の子どもの健康を守りたい

医学部 小児科学講座 赤川 翔平 講師

—研究テーマとそのテーマに決めたきっかけを教えてください。

研究テーマは腸内細菌叢と小児の健康です。この研究に着手したのは大学院で小児科学講座の金子教授からのアドバイスがきっかけでした。まずはどのような因子が小児の腸内細菌叢に影響を及ぼすのかということから始めましたが、大学院に入学した当時はまだ腸内細菌叢研究があまり広く行われておらず、研究環境を整えることに苦労しました。

研究のイロハもよく分からないままトロントに研究留学させていただき、トロントでは腎臓の発生学について研究をする中で、分子生物学的な手法や解析について学びました。帰国後、分娩様式(経陰分娩か帝王切開か)や栄養方法(母乳か人工乳か)が乳児の腸内細菌叢に影響を及ぼす影響を明らかにし、学位論文としました。

現在は小児アレルギーを中心に診療し、臨床と絡めてアレルギー疾患と腸内細菌叢についての研究をしています。卵アレルギー患者では腸内細菌叢で酪酸産生菌が減少していることを明らかにしました。酪酸は大腸で免疫を抑えるはたらきのある「制御性T細胞」を増やす働きがあります。酪酸が少ないと、制御性T細胞が増えず、過剰な免疫を抑えることができなくなるため、アレルギー発症につながるのではないかと考えています。

—研究の目標や将来の展望をお聞かせください。

日本人の約6割ともいわれるアレルギー疾患患者は、世界レベルで増加しています。腸内細菌叢をターゲットとした新たな治療法や予防法を開発したいと考えています。注目している食物繊維は酪酸産生菌のエサとなり、腸内の酪酸産生菌を増やす働きがあることがわかっています。最近行った研究では、食物繊維を豊富に含む大麦に注目しました。成人を対象として、食物繊維が特に多く含まれる機能性大麦を摂取すると腸内の酪酸量が増加することを確認しました。このことから、機能性大麦を積極的に摂取し、酪酸産生菌を増やすことが、アレルギーの新たな治療や予防になるのではないかと期待しています。

—研究への思いや後輩へのメッセージなどをお願いします。

研究の面白さを教えてくれたのは金子教授です。大学院に入るまで研究にはほとんど興味はありませんでした。大学院に入って、先輩の臨床研究を手伝ったり、リサーチミーティングに参加したりして、だんだんと研究が面白くなっていきました。今は同じ小児科医である妻の存在も大きく、助言や得意分野はお互いに手助けする関係です。研究をすることで同じ事象を科学的な目線とらえ、別の角度からも見られるようになり、臨床にも繋



がります。やってみると面白くなるかもしれません。新しいことや難しいことでも、積極的に挑戦してみてください。

【経歴】

平成23年 3月 高知大学医学部医学科 卒業
平成25年 3月 関西医科大学附属枚方病院 初期研修修了
平成25年 4月 関西医科大学小児科学講座 入局
平成28年 4月 トロント小児病院(研究員)へ留学(～平成29年4月)
令和 元年 9月 関西医科大学大学院 修了
令和 元年 10月 関西医科大学小児科学講座 助教
令和 3年 1月 関西医科大学小児科学講座 講師

【受賞歴】

平成30年 7月 第29回日本夜尿症学会学術集会 学会奨励賞 受賞
令和 元年 7月 The 4th Korea-Japan Enuresis Society Joint Meeting and the 30th Annual Meeting of The Japanese Society on Enuresis, Encouragement Award受賞
令和 2年 3月 第19回関西医科大学医学会賞 第2位 受賞
令和 2年 6月 第21回腸内細菌学会 研究奨励賞 受賞
令和 3年 5月 2021 Korean Academy of Pediatric Allergy and Respiratory Disease (KAPARD) and Asia Pacific Academy of Pediatric Allergy, Respiratory & Immunology (APAPARI) Joint Congress, Young Investigator Award 受賞
令和 3年 5月 日本小児アレルギー学会トラバールグランド 受賞
令和 3年 6月 第17回日本アレルギー学会学術大会賞 受賞
令和 3年 7月 第9回日本小児泌尿器科学会優秀論文賞 [臨床研究部門] 受賞
令和 3年 7月 第30回日本小児泌尿器科学会総会学術集会 学会賞 [基礎部門] 受賞
令和 3年10月 第53回日本小児感染症学会総会学術集会 Young Investigator Award 受賞

【主な競争的研究資金】

- ①公益財団法人ニッポンハム食の未来財団研究助成
小児の食物アレルギーと腸内細菌叢の関係
2,000,000円 研究期間: 令和3年度 研究代表者: 赤川翔平
- ②日本学術振興会 科学研究費 若手研究
川崎病罹患因子としての腸内細菌叢の役割の検討
4,290,000円 研究期間: 令和3年度～令和5年度 研究代表者: 赤川翔平
- ③公益財団法人ニッポンハム食の未来財団研究助成
機能性大麦を用いた腸内細菌叢を標的とする新たな食物アレルギー治療法の開発
2,000,000円 研究期間: 令和4年度 研究代表者: 赤川翔平
- ④公益財団法人ニッポンハム食の未来財団研究助成
小児鶏卵アレルギー患者における腸内細菌叢解析を用いた耐性獲得予測
2,000,000円 研究期間: 令和5年度 研究代表者: 赤川翔平
- ⑤日本学術振興会 科学研究費 若手研究
機能性大麦を用いた腸内細菌叢の是正が小児食物アレルギー患者の治療効果に及ぼす影響
4,680,000円 研究期間: 令和5年度～令和6年度 研究代表者: 赤川翔平

がん微小環境における浸潤突起に着目した、大腸がん再発・転移因子、 繊維性がん間質「immature」タイプの解明に向けて

医学部 外科学講座 小林 壽範 助教

—研究テーマとテーマを決めたきっかけを教えてください。

大腸・直腸がんの診療を中心として一般外科診療に従事しております。研究への入り口は、平成28年より社会人大学院へ入学し、附属病院に勤務しながら臨床研究を両立する形を選びました。この形を選択した理由は、外科医として手術の鍛錬を継続したかったからです。最初は不安がありましたが、卒業時には本当に良かったと思っています。手術で病気を治すことは、大変充実感があり、かけがえ無い経験であります。向上心を持ち、真摯に患者様と向き合い、指導医の先生方に手術を執刀させて頂き、術後から退院するまで緊張の連続であり、その中で得た率直な疑問を大切にしてきました。

平成29年から、直腸がん診療を研究の第一テーマにしました。直腸がんの手術は、ミリ単位で再発率が変わります。その理由は狭い骨盤の中から、直腸を周囲の脂肪組織から土管をくり抜く様に根治切除は行われます。いわゆる“Total mesorectal excision (TME)”と言われる手技です。このTMEを行った際に、切除した面が、隣接するがん細胞から病理組織学的に何ミリ離れていたかがkeyとなります。結果1ミリ以内であった場合に局所再発率が高いことが解っています。研究対象として、切除標本の質の担保を画像評価できるかを考えました。術前検査で試行したMRI画像結果と、切除した直後の未固定標本のMRI画像を撮影し、さらに、病理組織学的にヘマトキシリン・エオジン(HE)染色を行い、術前に想定した切除予定剥離線と、実際の切除標本における画像診断、病理組織結果との相関を調査しました。このような背景から、欧米は直腸がんに対して術前に化学放射線療法“Chemoradiation therapy (CRT)”を行いがん病巣の縮小を期待してから、手術を行う文化が定着しています。治療効果は高く、奏効する患者の中にはがん細胞が消えてしまう例もあります。本学附属病院においても積極的に術前にCRTを加えてから手術を行っていく中で、次の研究テーマとしてCRTの治療効果予測を考えました。着目したのは、オートファジー関連タンパクです。オートファジーとは、細胞内成分の異常を感知し分解するリソソーム依存^{*}のシステムであり、ホメオスタシスの維持に不可欠とされています。このオートファジーが、近年、悪性腫瘍に対する化学療法および放射線療法において、シグナル伝達の中心的役割を担っていることが報告されました。その中でも、ストレス下において選択的に誘導を行うことができるタンパク質、p62について検討しました。CRT前の大腸カメラ時に採取した生検検体を用い、免疫染色でのp62発現とCRT後の切除標本における治療奏効分類との関係を調査しました。結果、p62タンパク発現の強い群においてCRTの治療抵抗性があることが示されました(Colorectal Dis. 2021 May;23 (5) :1083-1090)。

—研究の目標、将来の展望を教えてください。

現在は、大腸がんにおける予後不良因子として、がんの微小環境“Tumor microenvironment”を研究テーマとしています。大腸がんは遠隔転移がなければ手術加療で約70%近くの方が長期生存いただけます。しかしながら、経過中に再発・転移を呈してしまう患者さんがいます。この再発・転移が一体どうして起こるのか、という疑問が研究のきっかけです。腫瘍浸潤部における線維化(desmoplastic reaction: DR)は、腫



瘍先進部に特異的に出現する特徴的な線維性組織(myxoid stroma, keloid-like collagen)を基準としてimmature、intermediate、matureの3つのカテゴリー形態に分類できます。このDRのimmatureタイプにおいて再発と予後に相関があることが解ってきました。このメカニズムの解明として浸潤先進部に形成される浸潤突起(invadopodia)が蛋白分解酵素の産生や癌幹細胞の存在と関連して、immatureの形成や予後不良に繋がるのではないかと仮説を立て科研費申請を行いました。まだ具体的な研究はこれからですが、原因解明の一助になりたいと考えています。

—研究への思いや後輩へのメッセージをお願いします。

数多の研究や論文報告がある現在、問題解決のために情報の選択を強いられますが、最も求められるのは“honesty”だと思っています。問題や疑問に正直に向き合い、無知を自覚し、学び、堂々と自信を持っていくべきだと思います。まずどんなことでも自信を持ってください。また、多様な思想を持つ研究者との出会いが、自分の知らない世界に導いてくれます。だから研究することが大事なのだと思います。自分一人では微力ですが、ご支援頂ける mentorと共に、これからも研究を継続していきたいと思っています。

^{*}リソソーム 細胞内小器官の一つ。細胞内の不要物を分解する機能を担う。

【略歴】

平成22年 4月 宇治徳洲会病院 初期臨床研修
平成24年 4月 宇治徳洲会病院 外科、救命センター
平成27年 4月 関西医科大学附属病院 外科学講座 病院助教
平成28年 4月 関西医科大学 大学院入学 病院助教兼、研究医員
令和 4年 4月 関西医科大学附属病院 外科学講座 助教

【主な受賞・競争的研究費採択】

平成30年 櫻根啓子賞
令和 2年 水野孝子賞
令和 4年 学内研究助成D2
・日本学術振興会 科学研究費 若手研究
超小型シークエンサーを用いた外科周術期管理におけるオンサイト迅速細菌同定法の確立
3,900,000円 研究期間:令和2年度~令和5年度 研究代表者:小林 壽範
・日本学術振興会 科学研究費 若手研究
浸潤突起に着目した大腸直腸癌の予後不良因子“粘液腫状間質”形成メカニズムの解明
3,900,000円 研究期間:令和5年度~令和8年度 研究代表者:小林 壽範
・公益財団法人 大阪コミュニティ財団 がん研究助成
大腸直腸癌の腫瘍微小環境における浸潤突起の意義と新規治療への展開
1,000,000円 研究期間:令和5年度~令和6年度

認知症サポーター養成講座

医

6月6日(火) 12時50分から、枚方キャンパス医学部棟2階第4講義室において、医学部4学年の講義の一環で、関西記念病院奥川学院長による「認知症サポーター養成講座」が開催されました。認知症サポーターとは認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域をつかっていくボランティア活動を行う人々のことで、「認知症サポーター養成講座」を受講することで認定されます。

令和7年には5.4人に1人程度が認知症になると予測さ

れる中、本学では数年前から本講座開催を開始しており、全医学部生がこの講座を履修しています。



認知症サポーターの証となる「オレンジリング」とカード

「高齢者こころとからだの健康チェック2023」開催

リ

5月13日(土)・14日(日)の2日間、リハビリテーション学部では、医学部衛生・公衆衛生学講座甲田勝康研究教授および附属病院健康科学センター木村穰センター長の協力のもと、地域住民を対象とした『高齢者こころとからだの健康チェック2023』を実施しました。昨年に続き2回目となる今回、2日間で計168名の方が参加しました。

評価項目は標準的な身体機能から創造性まで多岐にわたり、参加された地域の方からは「筋力が落ちたのではないかと不安だったが測定してもらって安心した」等の感想をいただきました。測定にはリハビリテーション学部の在学生も参加。学生たちは研究を通じた生きた学習の場で、

講義で得ることのできない多くのことを学んだ様子でした。



学生スタッフも参加しての計測の様子

ポストポリオ検診会

リ

6月3日(土)附属病院において、リハビリテーション科医師、理学療法士、作業療法士の協力のもと、リハビリテーション学部教員企画によるポストポリオ検診会を開催しました。リハビリテーション学部生も参加し、対象者から体験談を聞き、授業で学んだ計測や装具装着を実践しました。対象者には最後に医師から身体機能の計測結果がフィードバックされ、日常生活におけるアドバイスや装具相談も行われました。

今後も、教員と病院スタッフが連携するイベントを通して、学生がリハビリテーションの現場を経験する機会を増やしていきます。



計測の補助をする学生

モバイルダビンチ体験会

3月23日(木)～3月25日(土)にかけて腎泌尿器外科学講座木下秀文教授の主導により枚方キャンパス医学部棟3階シミュレーションセンターにて手術支援ロボットモバイルダビンチ体験会が実施されました。これは現在の最新機種であるダビンチXiが体験できるイベントで、3日間で医師、研修医、医学生、看護師、事務など総勢126名が参加。参加者はアームを操作しての縫合やトレーニングを体験し、最新技術に触れる機会となりました。



体験会の様子

令和5年度優良看護職員厚生労働大臣表彰

安田照美統括看護部長が令和5年度優良看護職員厚生労働大臣表彰を受けました。

この表彰は、多年にわたり看護業務に献身し、顕著な功績のあった者に対し、厚生労働大臣が表彰を行い、その労苦に報いることにより、その活動の一層の助長を図り、保健衛生の向上発展に資することを目的とするものです。

安田統括看護部長からのごあいさつ

今般、優良看護職員厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。私は昭和48年本学に入職し臨床の看護・教育・管理・病院経営などの経験をさせて頂きました。特に附属病院建設に関わり新たな発想の病院づくりは貴重な経験でした。地域連携を強化し訪問看護との連携に注力し地域医療に貢献できた事など、すべて私を支えてくださった方々のおかげであり深く感謝し心よりお礼を申し上げます。



総合医療センター

ドクターカー（ラピッドレスポンスタイプ）導入

総合医療センターは守口市門真市消防組合との災害における協力体制にかかる覚書締結のもと、ドクターカーの中でも迅速に救命医療を開始できるラピッドレスポンスカーを導入し、6月末から運用を開始しました。これは、要請に基づき医療者が災害現場に直行し現地で緊急性の高い疾患への対処や、COVID-19対応時に実施した宿泊型療養ホテルへの往診などに使用できる、機動性に優れた多目的の乗用車タイプで、同往診による補助金収入により導入が可能となりました。また、電力供給が可能なプラグインハイブリッド車であるため、大規模災害時には電力供給が絶たれた被災現場における、被災者に対する電力供給も可能です。この導入により、地域での

救命率向上に寄与する働きが期待されます。



ラピッドレスポンスカー

くずは病院

デイケアセンターのサービス内容をリニューアル

関医デイケアセンター・くずは(通所リハビリ事業所)は『さらによくするリハビリ』をコンセプトに、7月からサーキットクラストレーニング(集団リハビリ)や新たなリハビリ機器を導入しサービス提供時間内のリハビリ内容をリニューアルしました。具体的には、認知機能に対する介入も含めた、定期的な評価に基づいた療法士の関わりやテクノロジーを併用したリハビリテーションを実施するもので、リハビリテーション学部と連携し科学的根拠に基づいた、利用者さんの健康寿命延伸や自立支援を目的とした介護サービスを展開します。これにあわせて地域のケアマネージャーに対し、リハビリ提供方法や導入機器の説明会と体験会・個別相談会を開催しました。体験会・個別相談会では参加したケアマネージャー

が実際に使用する歩行トレーニングロボットなどを体験するとともに、利用者さんへの効果やサービスについて相談する様子が見られました。



体験会にて機器を使用する参加者

附属病院

病室のテレビ・冷蔵庫無料化

附属病院では患者満足度向上のための一環として、5月8日(月)から全ての病室のテレビと冷蔵庫を無料化しました。また、特別病室の壁紙の張り替えや一般個室の床頭台の刷新も実施し、快適な療養環境の提供に努めています。



令和6年度採用専門研修プログラム説明会開催

5月20日（土）15時から、枚方キャンパス医学部棟3階学生食堂において、専門研修プログラム説明会が開催されました。

説明会では、卒後臨床研修センター長沼誠副センター長からのあいさつ、卒後臨床研修センター前センター長である岡田英孝副学長による専門研修プログラムの概要説明の後、本学の研修医61名、他病院研修中の研修医12名の合計73名が16ブースに分かれて各科のプログラムについて質問し、専門研修への理解を深めました。

なお、説明会終了後、卒後臨床研修合同説明会との合同情報交換会を開催し、大盛況のうちに説明会は終了しました。



各科で理解を深める研修医

卒後臨床研修合同説明会『研修医と語ろう会』開催

5月20日（土）15時30分から、枚方キャンパス医学部棟2階第2講義室において、令和6年度以降採用研修医を対象とした臨床研修説明会「研修医と語ろう会」を開催しました。

今年度は初の試みとなる対面とオンライン併用のハイブリッド形式で開催。3年ぶりの対面形式が実現し、本学医学部5、6年生34名、他大学学生9名、オンライン参加学生11名の計54名が参加しました。

説明会では、岡田英孝副学長による臨床研修概要の説明をはじめとして、現役研修医4名による研修内容や生活についての説明が行われました。その後の質疑応答では、終了時刻まで活発な交流が続きました。

なお、説明会終了後、専門研修プログラム説明会との合同情報交換会を開催し、大盛況のうちに説明会は終了しました。



現役研修医による説明



看護師のための復職支援 関医・看護師リカレントスクール 第7期生募集!!

10月11日（水）～12月6日（水）

募集対象 ▶ 復職を目指す離職中の看護師

定員 ▶ 10名程度 受講料 ▶ 8,000円（実費相当）

- ◆ 講義はリモート！ e-ラーニングによる多様な学習を自宅で
- ◆ 最新の知識と技術の習得
- ◆ 希望者には就職支援

関西医科大学 看護キャリア開発センター
TEL 072-804-2849





学会賞等受賞情報

令和5年4月～6月の学会賞等受賞者を紹介します。

優秀演題賞

内科学第三講座 福井 寿朗 准教授

- テーマ A Multi-Center Observational Study for Validation to Establish Novel Severity Criteria for Intestinal Behcet's Disease. (Interim Report)
- 授与学会 AOCC (Asian Organization for Crohn's & Colitis) 2023



優秀演題賞

麻酔科学講座 梅垣 岳志 准教授

- テーマ 逆確率重み付け推定法を用いた破裂性腹部大動脈瘤に対する緊急開腹手術と血管内治療の退院時転帰の比較検討-DPCデータを用いた多施設研究-
A comparison of in-hospital outcomes between endovascular and open repair in patients with ruptured abdominal aortic aneurysm using IPW: a retrospective cohort study using administrative data
- 授与学会 日本麻酔科学会 第70回学術集会



優秀査読者賞 (Award for Outstanding Reviewers)

内科学第三講座 本澤 有介 講師

- テーマ 「The Japanese Society of Internal Medicine」 2022
- 授与学会 日本内科学会



優秀演題賞

外科学講座 吉田 明史 助教

- テーマ 肝細胞癌異種移植モデルにおけるレンバチニブ内包ナノファイバーシートの有効性
Efficacy of Nanofiber Sheets Incorporating Lenvatinib in a Hepatocellular Carcinoma Xenograft Model
- 授与学会 第123回日本外科学会定期学術集会



2023MIST学会 優秀論文賞

整形外科科学講座 谷 陽一 助教

- テーマ Threshold-based Monitoring of Compound Muscle Action Potentials for Percutaneous Pedicle Screw Placement in the Lumbosacral Spine: Can We Rely on Stimulation of the Uninsulated Screw to Provide a Valid Safety Warning?
- 授与学会 第13回最小侵襲脊椎治療学会



最優秀賞

リハビリテーション医学講座 梶本 かさね 研究医員

- テーマ 高齢者の歩行パラメータにおける左右非対称性の検証 -若年者との比較検討-
- 授与学会 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会





教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介します。
(主に令和5年4月1日～6月30日 ※判明分のみ)

■ テレビ等

内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	香港 フェニックステレビ (4月5日)	新型コロナウイルス感染症について宮下診療教授が取材を受け、現在行われている中国からの入国者に対する水際措置を緩和する方針や、実施時期についての見解を示しました。
関西医科大学 木梨 達雄 学長	読売テレビ 「かんさい情報ネットten.」 (4月6日)	4月5日に実施した入学式の様子が取り上げられ、木梨学長による医学部学費大幅減額の意図や求める学生像についてのコメントとあわせ放映されました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「newsランナー」 (5月8日)	宮下診療教授がスタジオ出演し、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行について、視聴者からの疑問に対する見解や感染予防対策継続の重要性を述べました。
光免疫医学研究所 小林 久隆 所長	毎日放送「よんちゃんTV」 (5月18日)	光免疫療法を取り上げたコーナーで、同療法の開発者である小林久隆氏が本学附属光免疫医学研究所の初代所長に就任したことや開設時記者会見でのコメントが取り上げられました。
光免疫医学研究所 小林 久隆 所長	日本テレビ「カズレーザーと学ぶ」 (5月23日)	光免疫療法の開発者である小林所長が出演し、新規技術による治療の進化やがんの再発リスクを減らす可能性について語りました。
附属病院 救命救急センター	ABC「newsおかえり」 (5月16日)	現場で奮闘する若きリーダー医師として尾上敦規助教に密着取材があり、高度救命の最前線で指揮する様子や若手医師への指導の他、救命センターの将来像について語る模様が放映されました。
内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「newsランナー」 (6月9日)	宮下診療教授がスタジオ出演し、新型コロナウイルス感染症の5類移行後にインフルエンザやヘルパンギーナのような新型コロナウイルス以外の感染症が増加している状況について、病状の解説や感染対策を述べました。

■ WEBメディア等

関西医科大学	枚方つーしん (4月5日)	4月5日にオープンした関西医科大学交流センターラウンジについて取り上げられ、施設内設備の概要と、4月7日から稼働する「松屋」の弁当自動販売機が珍しいものであることが紹介されました。
関西医科大学	枚方つーしん (4月6日)	枚方市香里ヶ丘2丁目に建設中の本学共同研究棟について取り上げられました。
眼科学教室 永井 由巳 准教授	メディカルトリビューン (4月26日)	永井准教授が第127回日本眼科学会で滲出型加齢黄斑変性の新規治療薬「ファリシマブ」の治療成績を報告した記事が掲載されました。
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 日高 浩史 准教授	Medical Note (5月1日)	日高准教授が滲出性中耳炎などによって起こる鼓膜穿孔の新しい治療法である「鼓膜再生療法」について解説した記事が掲載されました。
心療内科講座 蓮尾 英明 主任教授	m3.com (5月3日)	蓮尾主任教授が、がん医療に関わる医療従事者を対象としたWEBセミナーの中で、がん専門医が活用できる心理的技法について解説しました。
看護学部 三木 明子 教授	NHK Webサイト (5月16日)	在宅ケアの現場で起きるハラスメントを扱った番組に関する掲載記事で、三木教授によるハラスメント防止に関する提言が掲載されました。
外科学講座 海堀 昌樹 診療教授	日本経済新聞WEB (6月2日)	海堀診療教授がニプロ株式会社と共同開発した、患者さんの痛みを軽減するカテーテル固定用パッチ「ノナート(R)」の紹介とともに、販売開始されたことが報じられました。
外科学講座 海堀 昌樹 診療教授	株式新聞WEB (6月5日)	海堀診療教授がニプロ株式会社と共同開発した、患者さんの痛みを軽減するカテーテル固定用パッチ「ノナート(R)」を販売開始したことが報じられました。
外科学講座 海堀 昌樹 診療教授	QLifePro (6月6日)	海堀診療教授がニプロ株式会社と共同開発した、患者さんの痛みを軽減するカテーテル固定用パッチ「ノナート(R)」を販売開始したことが報じられました。
総合医療センター救急医学科 中森 靖 診療教授	メディカルウォッチ (6月9日)	キャンメディカルシステムズ株式会社が開催した、救急医療におけるアンジオCTおよび新しいソリューションに関する説明会の中で急性期医療情報統合ビューアの紹介と、中森診療教授のコメントが合わせて掲載されました。
総合医療センター救急医学科 中森 靖 診療教授 / 丸山 修平 助教	インナビネット (6月15日)	キャンメディカルシステムズ株式会社が販売開始した急性期医療情報統合ビューアの特長を紹介するメディカルメディアセミナーにおいて、共同研究を行った中森診療教授と丸山助教の講演内容が掲載されました。
iPS・幹細胞応用医学講座 六車 恵子 教授	QLifePro (6月21日)	六車教授が、広島大学原爆放射線医科学研究所他との共同研究で、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の新規原因としてLRP12遺伝子の5非翻訳領域のCGGリピート伸長変異を同定したことが掲載されました。
附属生命医学研究所分子遺伝学部門 上岡 裕治 講師	日経バイオテク (6月22日)	上岡講師らの研究グループが、細胞接着分子インテグリンごとに異なる活性化メカニズムを発見したことが掲載されました。

■ 新聞・雑誌等

神経内科学講座 近藤 啓之 診療教授	読売新聞朝刊 (4月26日)	医療ルネサンスのコーナー8000回を記念した記事で、患者さんから反響の大きかったものとして近藤診療教授による多発性硬化症の記事におけるコメントが取り上げられました。
医学部	岐阜新聞 (5月22日)	医学部6学年が岐阜県白川町の白川病院で学外臨床実習を行っている様子と学生コメントが掲載されました。
外科学講座 海堀 昌樹 診療教授 / 吉田 明史 病院助教	CONVERTECH INTERNATIONAL (5月31日)	外科学講座海堀昌樹診療教授が、同講座吉田病院助教と国立研究開発法人物質・材料研究機構(茨城県つくば市)との共同研究で開発を行った、貼ってがんを治療するシートの研究についての記事が英語で掲載されました。
総合医療センター 中森 靖 副病院長	読売新聞 朝刊 (6月5日)	新型コロナウイルス感染症5類引き下げに伴う脱マスクの状況を取り上げた記事で、高リスクの患者さんに配慮し総合医療センターの全職員がマスク着用をしていると述べ患者さんを守る必要性を訴えた中森副病院長のコメントが掲載されました。
関西医科大学 木梨 達雄 学長	読売新聞 夕刊 (6月28日)	木梨学長が取材を受け、THE世界大学ランキングを取り上げた記事で、ランキング高位に入ったことがきっかけでイタリアのトリノ工科大学と医工連携の協定締結に至ったことや、木梨学長のコメントが掲載されました。

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

編集後記

今年は梅雨らしい天候を迎えることなく、いつの間にか暑い季節になりました。通勤途中、河川敷から見える関医タワーも枚方の街に馴染んだなど思っていたら、開設してはや1年。月日の経過が恐ろしく早く感じるこの頃です。

日々を大切にしながら、今年は夏を存分に満喫したいと思います。(は)

関西医科大学広報 Vol.62

発行 学校法人 関西医科大学
編集 広報戦略室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)
FAX 072-804-2638

<https://www.kmu.ac.jp/>
E-mail:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

令和5年7月31日(月)発行